

**卒業生及び東京都立産業技術高等専門学校に  
関する企業の意識調査**

**調査結果報告書**

平成 25 年 6 月

東京都立産業技術高等専門学校

## 目次

調査概要	2
1 調査の背景・目的	
2 調査方法、調査対象、回収結果等	
第1部 本校卒業生の雇用就業を取り巻く現状の分析	5
1. 高専卒業生の雇用動向	
2. 高専の人材育成教育の取り組み状況	
3. 新社会人の能力・資質	
4. その他	
第2部 アンケート調査結果報告	10
1. 本校卒業生の採用時の職種	
2. 本校卒業生の離職状況	
3. 本校卒業生に対する総合的満足度	
4. 学生を採用する際、企業が学生に期待する項目（能力・資質）	
5. 本校卒業生に対する項目別評価	
6. 他の高専卒業生と比較した場合の、本校卒業生の評価ポイント	
7. 他の大学卒業生と比較した場合における本校卒業生の不足ポイント	
8. 本校の教育目標に対する卒業生の充足度	
9. 本校の教育について企業が望むこと	
10. 専攻科で望まれる教育	
11. その他の調査ポイント	
12. 高専卒業生及び本校卒業生の雇用状況等	
第3部 総合分析結果	31
・ 調査結果のまとめと総合分析	
第4部 資料編	35
・ アンケート調査票原票	
・ 単純集計結果	

## 調査概要

### 1 調査の背景・目的

「卒業生及び東京都立産業技術高等専門学校に関する企業の意識調査」（以下「本調査」と表記する）では、企業から見た東京都立産業技術高等専門学校（以下「本校」）の卒業生（修了生を含む）に対する評価や要望、産業界のニーズを把握し、本校の経営戦略に活かすための基礎資料を得ることを目的とする。

なお、前回調査（平成 22 年「企業による都立工業高等専門学校・都立航空工業高等専門学校卒業生に対する評価と要望」、以下「前回調査」と表記する）は、本校が平成 18 年度に 2 つの都立高等専門学校を統合し、さらに平成 20 年 4 月より経営母体が公立大学法人首都大学東京に移管された後の平成 22 年 1 月に実施されたもので、主に「統合前の本校卒業生」を対象としたものであった。

それに対し今回の調査は、主に「統合後の本校卒業生」を対象とした評価調査と位置づけられるが、今回の調査にも「統合前の本校卒業生」が含まれている点に留意する必要がある。その意味で今後実施が検討される「統合後の本校卒業生」のみを対象とした調査とあわせ、「時系列での全体像」をとらえることが可能になると考えられる。

### 2 調査方法、調査対象、回収結果等

#### 2-1 調査方法、調査対象

平成 24 年度に本校を卒業及び修了する予定者の求人を依頼した企業に対し、「郵送アンケート調査」を実施。

#### 2-2 有効発送数、回収結果

有効発送数 : 1,523 (発送数 1,551 - 不明戻数 28)

有効回収数 : 286 (回収数 287 - 無効票 1)

回収率 : 18.8%

※前回調査の回収率は 9.3% (回収数 124 ÷ 発送数 1,329)

#### 2-3 調査ステップと実施時期

平成 25 年 1 月 30 日 調査対象企業に対し、アンケート票を発送

平成 25 年 2 月 28 日 企業からのアンケート票の回収終了

平成 25 年 3 月 29 日 調査報告書の納品

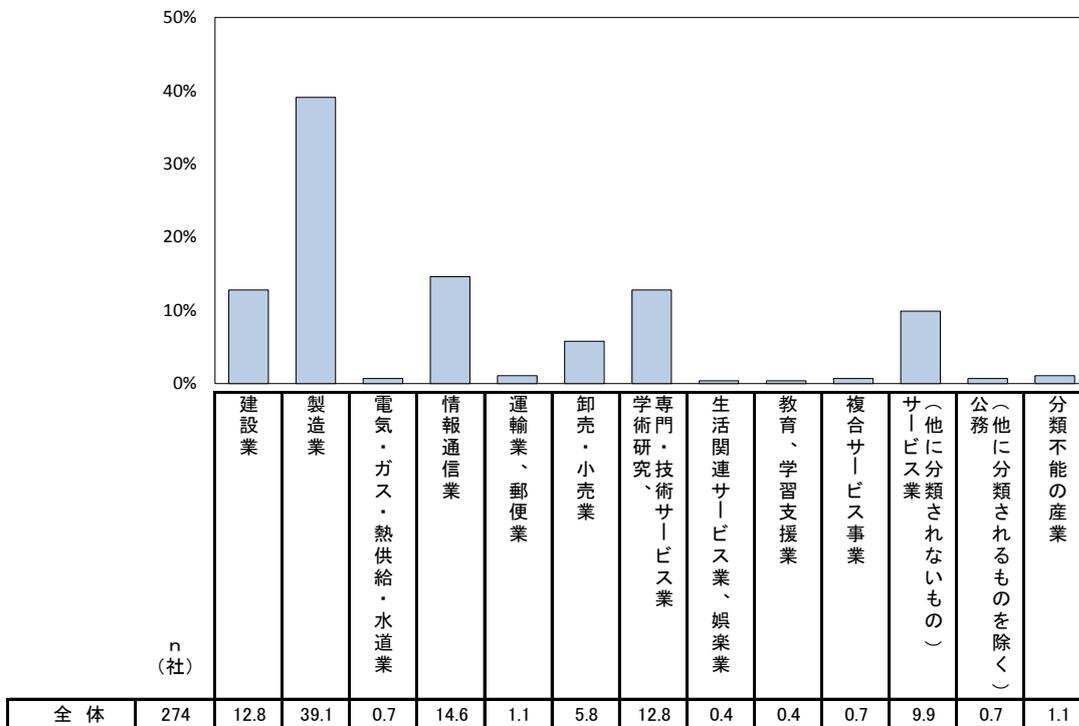
## 2-4 分析の基本方針

- ・ アンケート回答結果の集計（単純集計、クロス集計）に基づき、全般的な回答傾向や特徴的な結果をとりまとめる。
- ・ クロス分析においては、「企業規模別」分析を主として用いる。また、その他調査の主要ポイントにおいて「業種別」、「(卒業生の) 在籍場所別」、「(卒業生の採用時の) 職種別」の分析を行う。
- ・ 「企業規模別」分析においては、前回調査と同様、「資本金3億円以上」かつ「従業員数300人以上」を大企業、それ以外を中小企業とする。
- ・ クロス集計分析において、30サンプル以下の分析軸についてはサンプル数が少ない項目が多いため参考値として掲載する。
- ・ F A（自由回答）については、回答を分類し、特徴的な内容があれば掲載する。
- ・ 今回調査との比較検討を行うデータとしては（1）前回調査、加えて（2）オープンデータによる大学生・高等専門学校生などに対する同様の調査結果も参考とする。

## 2-5 回答企業の基本プロフィール

### 【業種】

「製造業」が最も多く、次いで「情報通信業」「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」が多い。

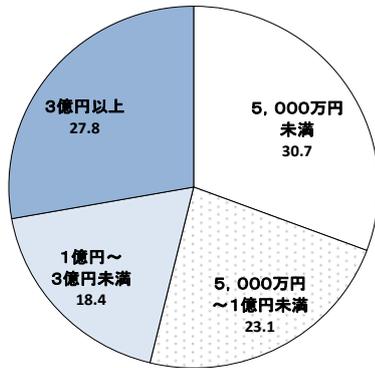


※聴取した業種としては上記掲載業種のほか、「農業・林業」、「漁業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「金融業・保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」があるが、いずれも回答企業数「0」のため割愛して掲載する。以下同様。

### 【資本金】

「5000万円未満」と「3億円以上」が3割前後を占める。(平均686,482万円、中央値9,500万円)

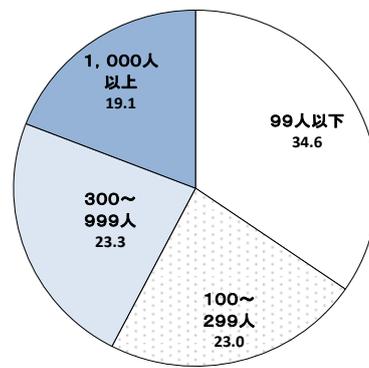
資本金\_全体(n=277)



### 【従業員数】

「99人」以下が最も多い。(平均1735.6人、中央値200人)

従業員数\_全体(n=283)

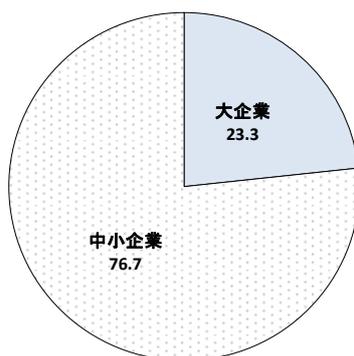


### 【企業規模（大企業、中小企業別構成比）】

中小企業が8割弱を占める。

※「資本金3億円以上」かつ「従業員数300人以上」を大企業、それ以外を中小企業と定義。

企業規模\_全体(n=275)



### 【直近5年度（平成20～24年度）の新卒採用者数】

1企業当たりの平均採用者数は113.7人。(中央値23人)

## 第1部 本校卒業生の雇用就業を取り巻く現状の分析

### 1. 高専卒業生の雇用動向

- 国立高等専門学校機構によれば、平成23年度における就職率（卒業生全体に占める就職者数の割合）は57.2%で前年より3.2ポイント上昇している。
- 就職者総数（平成22年度）を産業別にみると、「製造業」が52.8%と最も高く、次いで「情報通信業」10.8%、「電気・ガス・熱供給・水道業」10.4%、「建設業」8.7%の順となっている。
- 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が93.3%（うち技術者92.9%）を占めている。
- 就職希望者に対する求人倍率（平成23年度）は15.6倍、就職決定率も98.9%と高くなっており、「2012版ものづくり白書」（平成24年/経済産業省、厚生労働省、文部科学省）によれば、高専は、求人倍率・就職決定率も他教育機関と比べ高く、我が国・企業のものづくりの現場を支える、実践的・創造的技術者の育成を行っていると評価されている。

【図表1-1：高専卒業生の就職状況の推移】

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
卒業生数	8,897	9,213	8,996	9,097	9,094
就職希望者数	4,765	4,910	4,640	4,959	5,257
就職者数	4,738	4,873	4,564	4,911	5,199
卒業生のうちの就職率	53.3%	52.9%	50.7%	54.0%	57.2%
就職希望者のうちの就職率	99.4%	99.2%	98.4%	99.0%	98.9%
求人倍率	24.6倍	24.8倍	18.6倍	15.2倍	15.6倍

(出典/国立高等専門学校機構ウェブサイト)

【図表1-2：高専卒業生の産業別就職者数（平成22年度）】

産業	人数	構成比
製造業	2,594	52.8%
情報通信業	529	10.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	512	10.4%
建設業	427	8.7%
運輸業・郵便業	283	5.8%
学術研究、専門・技術サービス等	195	4.0%
公務員	130	2.6%
その他サービス	77	1.6%
複合サービス事業	38	0.8%
卸売業、小売業	28	0.6%
宿泊業、飲食サービス業	15	0.3%
金融業、保険業	11	0.2%
教育、学習支援業	11	0.2%
不動産業、物品賃貸業	9	0.2%
生活関連サービス、娯楽業	9	0.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	8	0.2%
農業、林業	7	0.1%
医療、福祉	7	0.1%
漁業	1	0.0%
その他	20	0.4%
合計	4,911	100.0%

(出典/国立高等専門学校機構ウェブサイト)

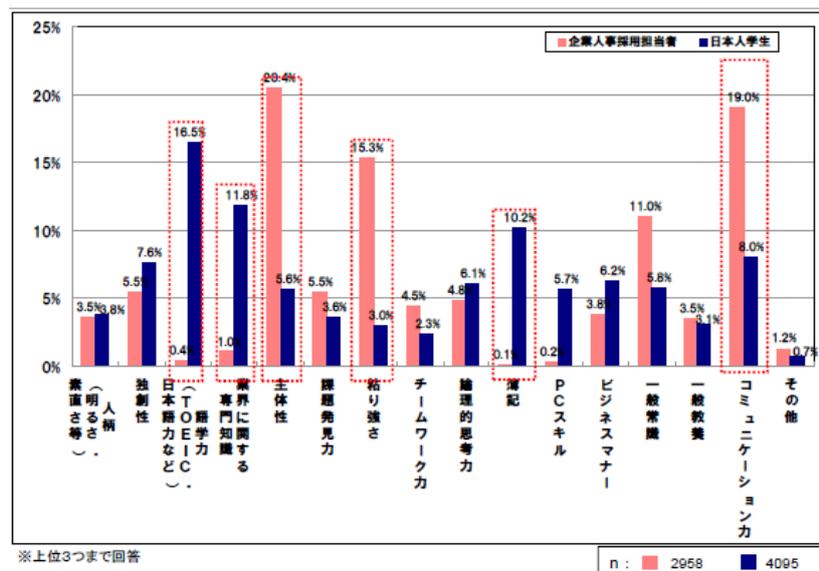
## 2. 高専の人材育成教育の取り組み状況

- 「2012 版ものづくり白書」（平成 24 年/経済産業省、厚生労働省、文部科学省）によれば、高専は、「実験・実習を中心とする体験重視型の専門教育」を教育の特色とし、企業の現場を支える創造的・実践的技術者を養成している。
- 主な実践的教育の具体的な取り組みとしては、「産学連携による教育プログラムの開発」や「長期インターンシップの実施」「学生の創意工夫を生むための課外活動の充実」といった教育内容や方法の改善に関する取り組みや、「企業からの教員派遣」や「企業での教員研修の実施」など教員の指導力を向上させる取り組みが挙げられている。また、文部科学省では、イノベーション創造を担うものづくり人材を養成するための「産学連携による実践型人材育成事業、ものづくり技術者育成」において、高等専門学校の良い教育改革の取り組みを支援している。

## 3. 新社会人の能力・資質

- 経済産業省の「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」（平成 21 年）によれば、学生は自らに不足しているものとして語学力や業界の専門知識、簿記等の「技術・スキル系の能力要素」と考えている。一方、企業側では、「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション力」といった内面的な基本能力の不足を感じている結果となっている。

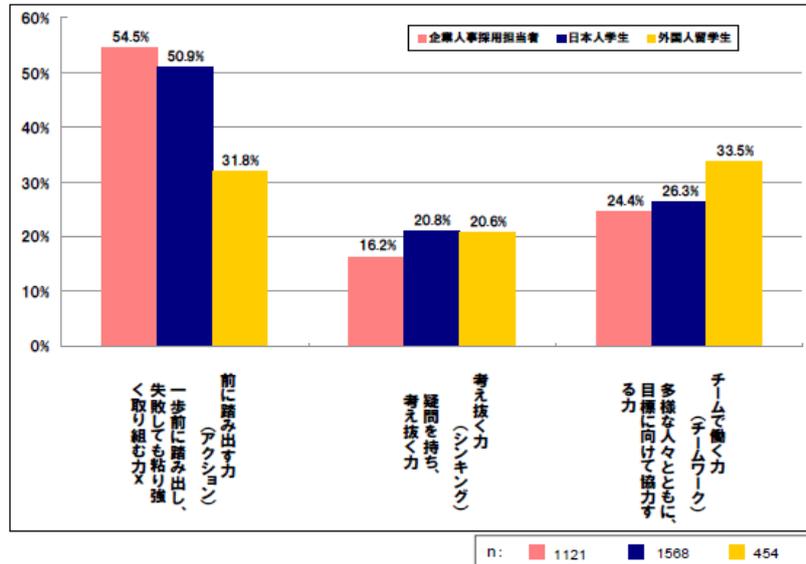
【図表 1-3：企業の学生に不足していると思う能力要素と学生の自分に不足していると思う能力要素】



(出典/経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」)

- また、「社会人基礎力」の3つの能力のうちでは、企業は「前に踏み出す力」を最も重要な能力と考えている。なお、学生側も同様の認識となっている。

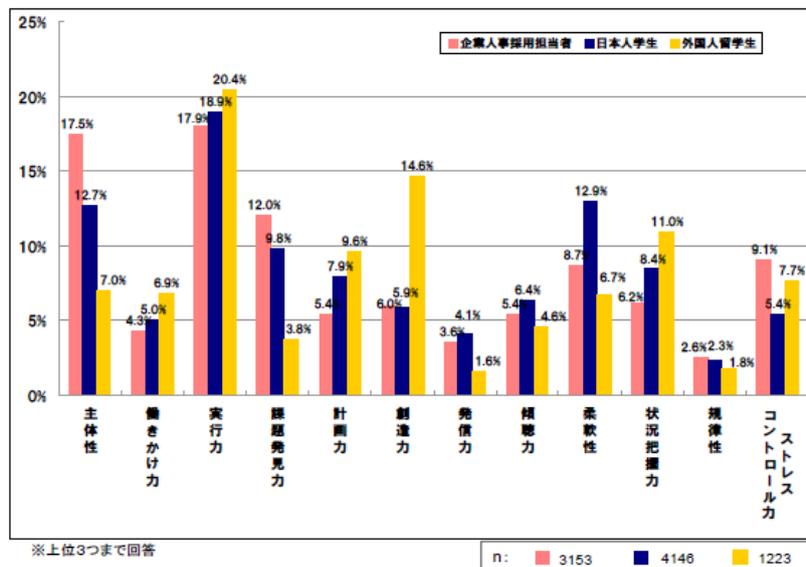
【図表1-4：「社会人基礎力」の3つの能力のうち、最も重要だと考える能力】



(出典/経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」)

- 「社会人基礎力」の12の能力要素のうちでは、企業は「実行力」と「主体性」を重要ととらえており、この調査結果から社会で活躍するのは「自ら進んで実行できる人間」であるとの意識が強いと結論づけている。

【図表1-5：「社会人基礎力」の12つの能力要素のうち、重要だと考える能力要素】



(出典/経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」)

【図表 1-6 : 参考/社会人基礎力の「3つ能力」と「12の能力要素」】

社会人基礎力 3つの力/ 12の能力要素		
前に踏み出す力(アクション)		考え抜く力(シンキング)
主体性		課題発見力
働きかけ力		計画力
実行力		創造力
チームで働く力(チームワーク)		
発信力	柔軟性	規律性
傾聴力	状況把握力	ストレスコントロール力

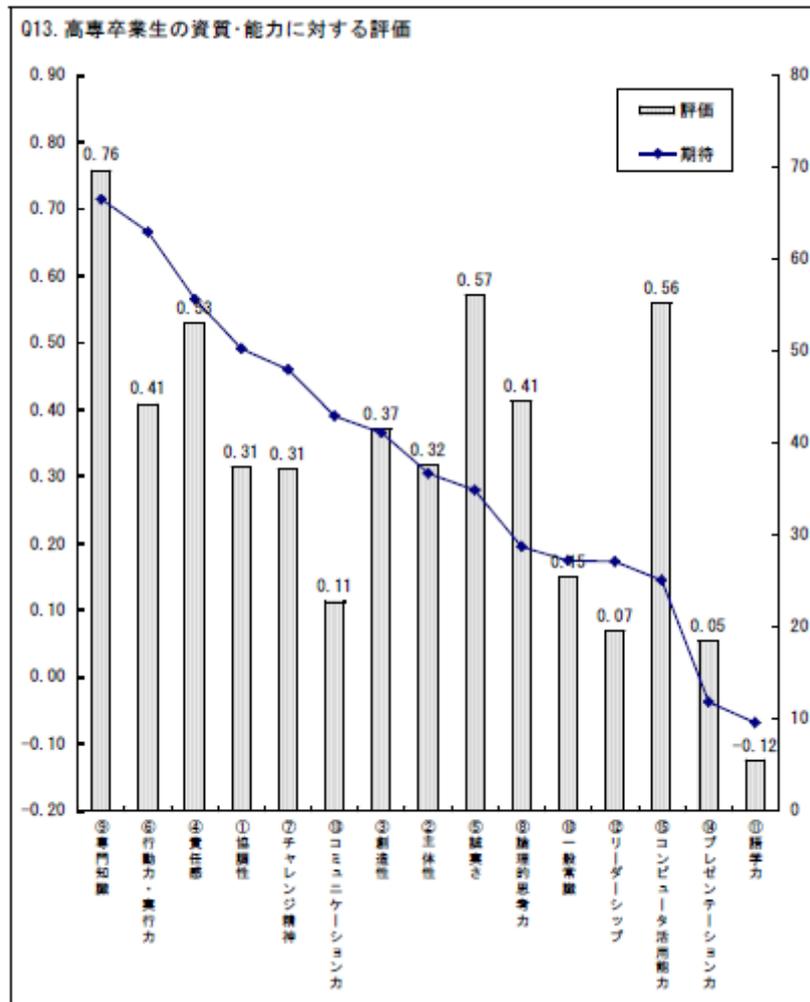
(出典/経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」)

- 日本経済団体連合会（経団連）の「新卒採用に関するアンケート」（2010年）によると、（大企業のニーズとして）大学生に不足している素質・態度・知識・能力について「主体性」「職業観」「実行力」「コミュニケーション能力」が挙げられている。また、「産業界の求める人材像と大学教育への期待に関するアンケート結果」（2011年）によると、これまで重視されてきた「コミュニケーション能力」「主体性」「チームワーク・協調性」が近年常に上位となっている。

#### 4. その他

- その他データとして、国立高等専門学校機構の「高等専門学校のあり方に関する調査」（平成18年）の以下のデータを取り上げる。本調査では、前回調査にはなかった「高専卒業生の資質・能力に対する企業の期待値」が取り上げられており、今回の調査結果との比較に有効と考えられる。
- 本データの「高専卒業生の資質・能力に対する期待と評価」をみれば、最も企業の期待値が高く、あわせて高専卒業生の評価の高い項目として「専門知識」が挙げられている。さらに企業の期待値と高専卒業生の評価が一致もしくは評価が高い項目として「コンピューター活用能力」「誠実さ」「論理的思考力」が挙げられている。一方、企業の期待に比べ評価が低い項目として「コミュニケーション能力」が挙げられている。また、その他の企業の期待に比べ評価が低い項目として「行動力・実行力」「協調性」「チャレンジ精神」も挙げられている。

【図表 1-7 : 高専卒業生の資質・能力に対する評価（企業の期待値と高専卒業生の評価）】



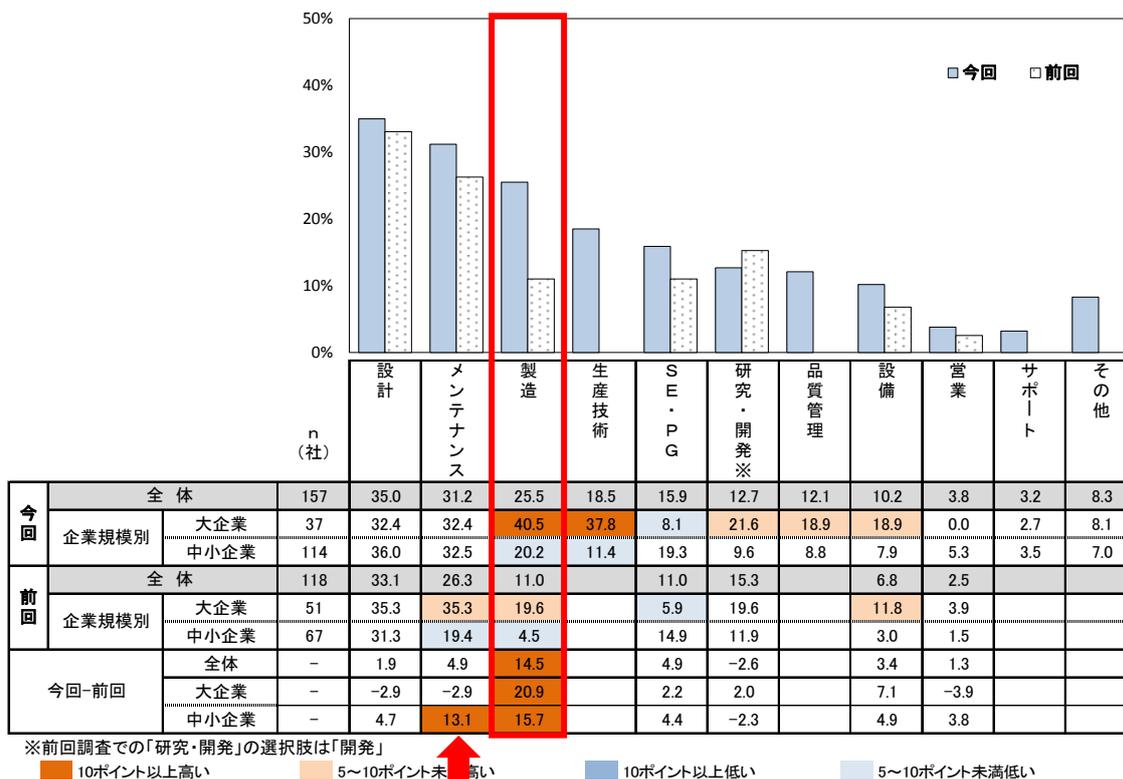
(出典/国立高等専門学校機構の「高等専門学校のある方に関する調査」)

## 第2部 アンケート調査結果報告

### 1. 本校卒業生の採用時の職種

- 今回調査では、「設計 (35.0%)」「メンテナンス (31.2%)」「製造 (25.5%)」が上位を占めるなど、前回調査と同様に、ものづくり教育を実施している高専に合致した職種での採用が多い。
- 特に前回調査と比較し、「製造」の採用が増加傾向にあり、その要因として、今回調査では「製造」で採用している大企業とともに中小企業での増加が挙げられる。(ただし前回調査の上位項目「技術」などが今回の調査項目に無いなど、調査項目が異なる点に留意する必要がある)
- その他として、「メンテナンス」において中小企業が前回より増加傾向にある。

【図表 2 - 1 : 本校卒業生の採用時の職種】



#### 【注：集計データについて】

- (1) 各回答の全体に占める割合は四捨五入して表記している（小数点以下第1位の表記では第2位を四捨五入）。そのため、単数回答の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 属性別集計について、回答状況により各属性に分類されず（属性が「不明」扱いとなり、属性別集計には分類されない）、属性別の合計数が全体数と異なる場合がある。

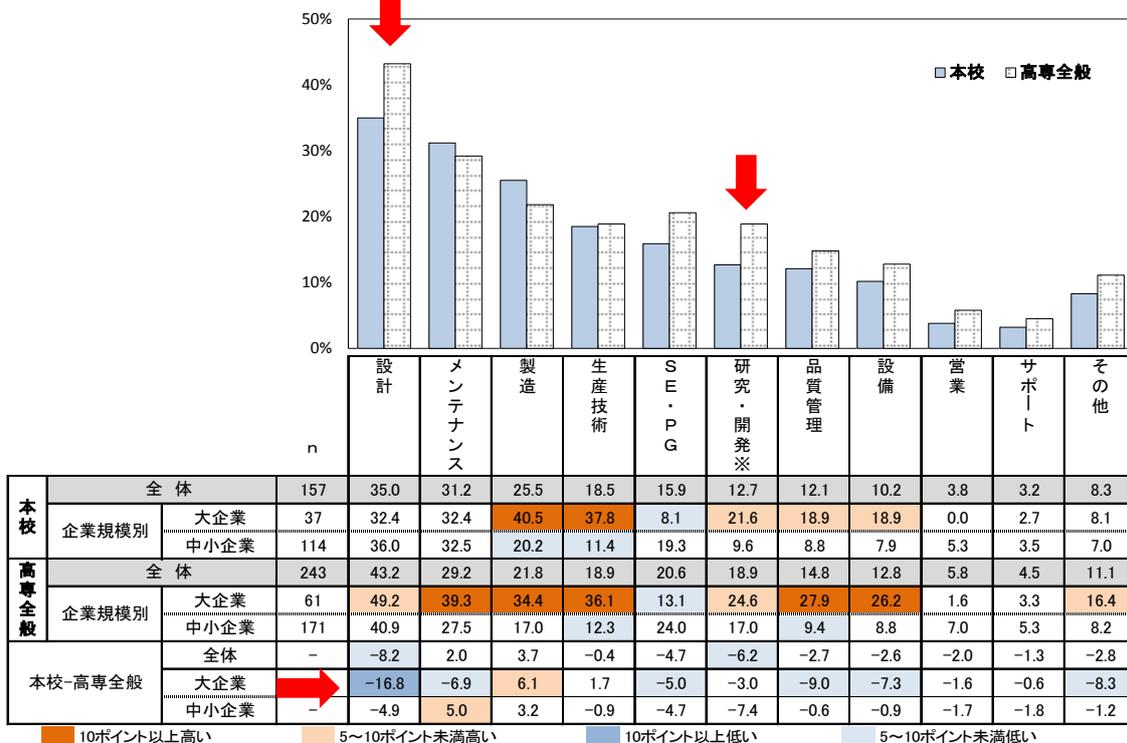
【図表 2-2 : (参考) 前回調査における上記以外の職種】

		技術	生産	管理	オペレーター	検査	現業	分析・解析	コンサルタント	技能	操作	総合
前回	全体	118	36.4	22.0	18.6	4.2	4.2	2.5	1.7	0.8	0.8	0.8
	企業規模別											
	大企業	51	45.1	31.4	25.5	2.0	7.8	5.9	2.0	0.0	2.0	2.0
	中小企業	67	29.9	14.9	13.4	6.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0

■ 10ポイント以上高い   
 ■ 5~10ポイント未満高い   
 ■ 10ポイント以上低い   
 ■ 5~10ポイント未満低い

- 今回調査における「高専卒業生（全般）の採用時の職種」と「本校卒業生の採用時の職種」を比較すると、「設計」と「研究・開発」において、5ポイント以上高専卒業生（全般）の方が高い。また企業規模別で見ると、本校卒業生で大企業が平均より10ポイント以上高い項目として「製造」と「生産技術」のみが挙げられるのに対し、高専卒業生（全般）では「製造」「生産技術」に加え「メンテナンス」「生産技術」「品質管理」「設備」が挙げられる。（※「高専卒業生（全般）」とは、本校を含む全ての高専卒業生を指す。以下同様）
- また、特に「設計」において、高専全般と比べ大企業の採用が低い傾向がある。

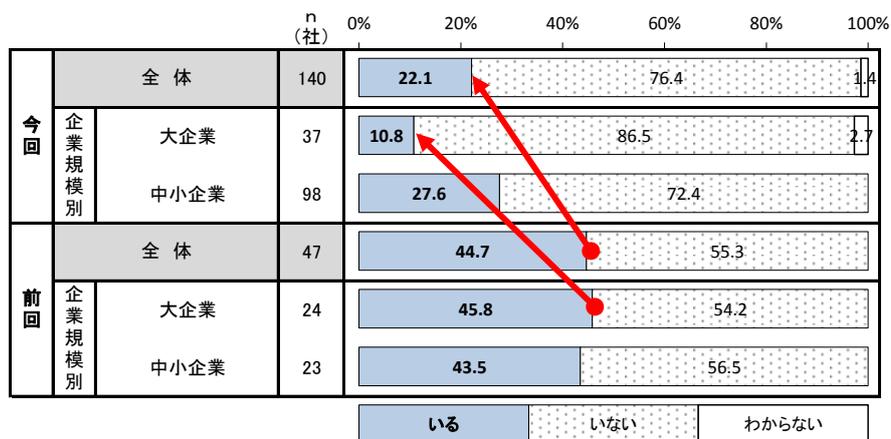
【図表 2-3 : 高専卒業生の採用時の職種（本校卒業生との比較）】



## 2. 本校卒業生の離職状況

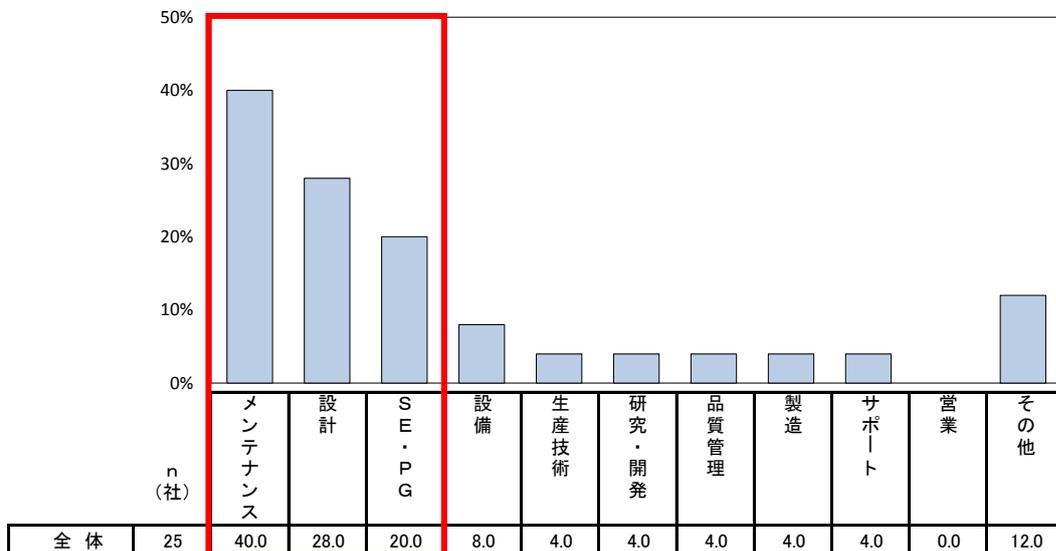
- 本校卒業生を採用した企業において、本校卒業生の離職出現率（直近5年度）をみると、前回44.7%に対し今回22.1%と約1/2にまで減少している。
- 前回調査との比較では、特に大企業での離職出現率が大きく減少している。（※ただし、今回調査では直近5年度の実績、前回調査では期間を定めず聴取、という違いがあることに留意）

【図表2-4：本校卒業生を採用した企業における離職者の発生の有無】



- 本校卒業生の離職者があった1企業当たり離職数においても、前回2.05人（回答企業21社で43人）、今回1.65人（回答企業20社で33人）と減少傾向がある。
- 本校卒業生の離職時の職種としては、特に「メンテナンス」が多く、次いで「設計」、「SE、PG」が多い。

【図表2-5：本校卒業生の離職時の職種/今回調査】



- 今回調査の「離職時の理由（F A）」としては、進学や転職・家業継承による進路変更の他、仕事内容・職性の不一致、家庭・自身の事情などが挙げられている。

【図表 2 - 6 : 離職時の理由（F A）】

進学(による進路変更)	新たに学校に行くなど 専門学校に入学のため(福祉関係)。方向転換。 進学 SEではなく、自動車専門学校へ入学し学びたいとのこと。
転職・家業継承(による進路変更)	家庭がコンビニを経営していたため。 IT関係に進みたいとの事。 転職 公務員試験合格の為
仕事内容・職性の不一致	自分のやりたい仕事と異なっていた。(当初の仕事以外にやりたいことがあった) 職性が合わなかった他。
家庭・自身の事情(結婚、病気など)	父の病気療養の為、遠くに移転し、通勤不可能の理由で退社 持病再発 結婚退職
会社との不適合	職場にとけ込めない。(上司、先輩の責任もあり)
その他	自己都合退職 該当なし

- 本校卒業生の雇用・離職状況について、採用時の職種別でみると、本科の1社当たりの平均雇用数では、「設備」と「メンテナンス」が他の職種と比べ非常に大きい。一方、離職出現率では、「営業」と「サポート」が非常に大きく、また「メンテナンス」「SE・PG」も比較的多くなっている。

【図表 2 - 7 : 本校卒業生の採用時職種別1社当たり平均雇用数と離職出現率】

	本科卒業生		専攻科卒業生		離職出現率 (%)
	n (社)	平均雇用者数	n (社)	平均雇用者数	
全体	135	3.27	22	1.32	22.1
生産技術	25	3.36	6	1.67	25.0
設計	47	3.17	11	1.55	16.3
研究・開発	15	2.60	4	1.75	16.7
メンテナンス	44	5.09	8	1.25	33.3
品質管理	15	3.40	2	1.00	17.6
製造	36	2.72	7	1.14	18.4
SE・PG	19	2.26	1	1.00	31.6
設備	11	11.27	4	1.50	21.4
営業	6	3.83	3	1.00	50.0
サポート	5	3.40	1	1.00	60.0
その他	10	2.90	2	1.00	30.0

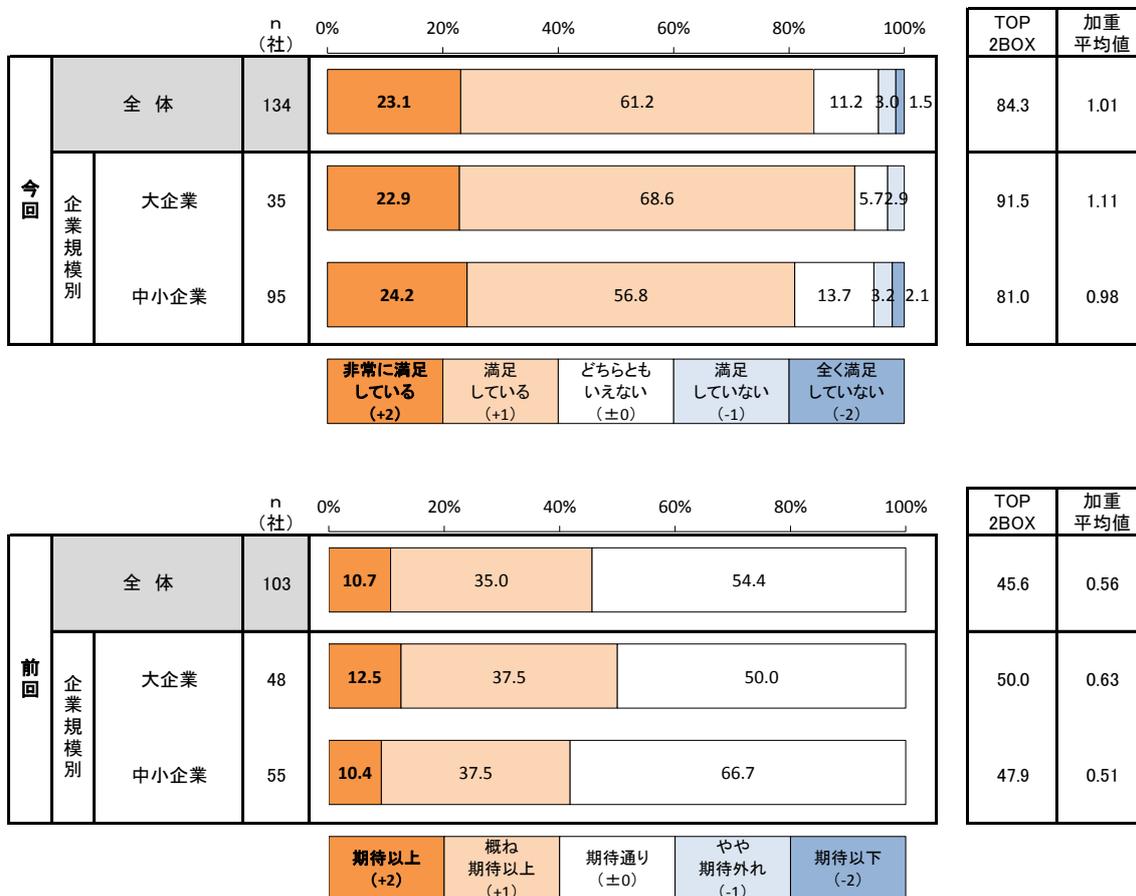
※雇用者数は、各卒業生の雇用者が「1人」以上の回答

### 3. 本校卒業生に対する総合的満足度

- 今回調査では「満足している (TOP 2BOX)」企業が 84.3% (非常に満足 23.1%、満足 61.2%) と高く、本校卒業生は採用企業に総合的に評価されている。

※前回調査では、「期待以上 (TOP 2BOX)」が 45.6% (期待以上 10.7%、おおむね期待以上 35.0%) と今回調査に比べ評価がかなり低かった。しかしながら、今回・前回調査での回答項目が異なること、特に今回調査の回答における中間の選択肢「どちらともいえない」であり、前回調査の中間の選択肢が「期待通り」とは基準が異なる為、参考値として掲載している。

【図表 2 - 8 : 本校卒業生に対する総合的満足度】



※平均 (加重平均) は、「非常に満足」(+2) ~ 「全く満足していない」(-2) にそれぞれポイントを設定し、平均を算出した値 (以下同様)

- 企業規模別をはじめ属性別で見た場合、全体平均と概ね同様の傾向にある。
- ※ サンプル数が比較的多い項目（下記グリーン表示）において、全体平均と比べ0.3ポイント以上の差はない（以下同様）

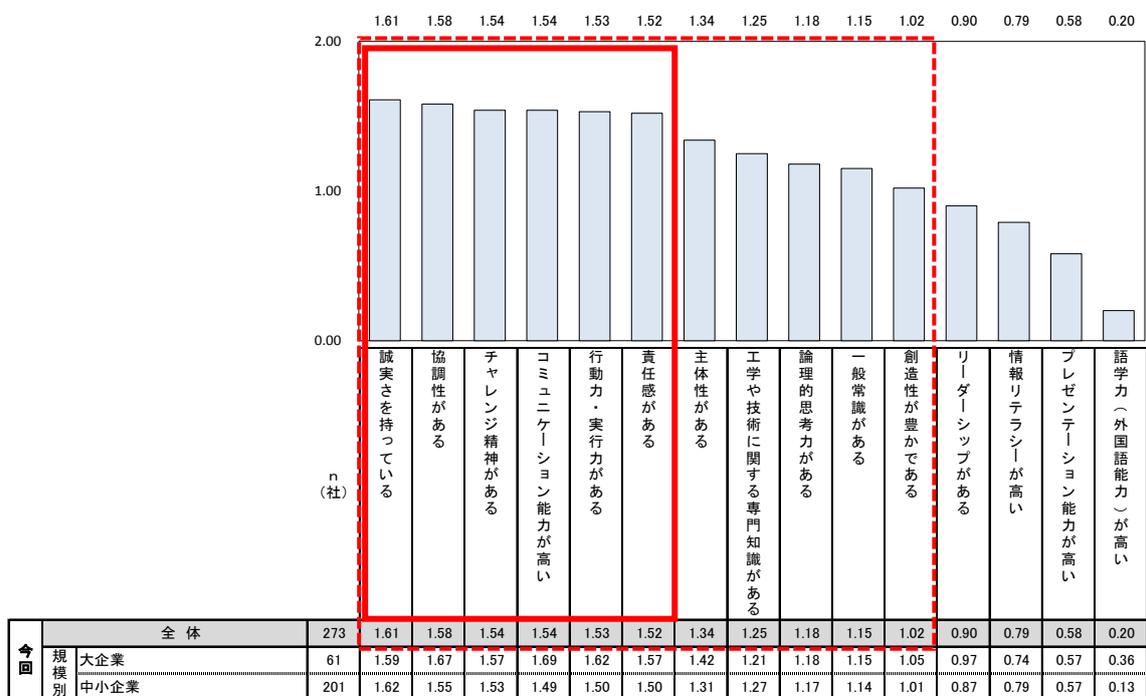
【図表 2 - 9 : 本校卒業生の総合的満足度/その他属性別平均値】

【業種別】	n	平均	【在籍場所別】	n	平均	【採用時の職種別】	n	平均
全体	134	1.01	全体	134	1.01	全体	134	1.01
建設業	12	1.08	本科: 荒川キャンパス	35	1.09	生産技術	26	1.19
製造業	60	1.00	本科: 品川キャンパス	63	1.00	設計	45	0.93
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	本科: 都立工業高等専門学校	37	1.00	研究・開発	16	1.38
情報通信業	18	0.89	本科: 都立航空工業高等専門学校	34	0.91	メンテナンス	43	1.12
運輸業、郵便業	1	2.00	本科: 分からない	10	1.50	品質管理	15	1.27
卸売・小売業	7	1.14	専攻科: 荒川キャンパス	5	1.40	製造	36	1.00
学術研究、専門・技術サービス業	16	0.88	専攻科: 品川キャンパス	9	1.44	SE・PG	18	0.83
生活関連サービス業、娯楽業	1	2.00	専攻科: 分からない	3	0.00	設備	13	1.38
教育、学習支援業	-	-				営業	6	1.50
複合サービス事業	-	-				サポート	5	1.00
サービス業(他に分類されないもの)	11	1.27				その他	10	1.50
公務(他に分類されるものを除く)	-	-						
分類不能の産業	2	1.50						

#### 4. 学生を採用する際、企業が学生に期待する項目（能力・資質）

- 全体として「少し期待する」（平均1ポイント）以上に期待する項目が、全15項目中11項目もあり、企業が学生に期待するニーズは非常に高いことが窺える。
- 特に期待が高い項目（平均1.5以上）としては、「誠実さ」「協調性」「チャレンジ精神」「コミュニケーション能力」「行動力・実行力」「責任感」が挙げられる。
- その他、「主体性」「工学や技術に関する専門知識」「論理的思考力」「一般常識」「創造性」も「少し期待する」以上（平均1ポイント以上）に期待されている項目。
- 一方、学生に対する期待が相対的に低い項目としては、「語学力（外国語能力）」や「プレゼンテーション能力」などが挙げられるが、これらにしても「どちらともいえない」レベルであり、「期待しない」レベルではない点に注意が必要である。

【図表2-10：学生を採用する際、企業が学生に期待する項目/その他属性別平均値】



■ 国立高等専門学校機構の「高等専門学校のある方に関する調査」（平成18年）の調査結果と比較した場合、機構の調査で最も企業の期待値が高かった「専門知識」が今回の調査では中位程度（全15項目中第8位）に位置することは、大きな企業ニーズの変化が感じられ、特筆すべきポイントととらえられる。

- 企業規模別で見た場合、全体平均と概ね同様の傾向にある。（全体平均と比べ0.3ポイント以上の差はない）
- その他属性別で見た場合、「語学力」において業種別の「設計」と在籍場所別の「本科：都立航空工業高等専門学校」が平均よりやや高い傾向がある。

【図表 2-11：学生を採用する際、企業が学生に期待する項目/その他属性別平均値】

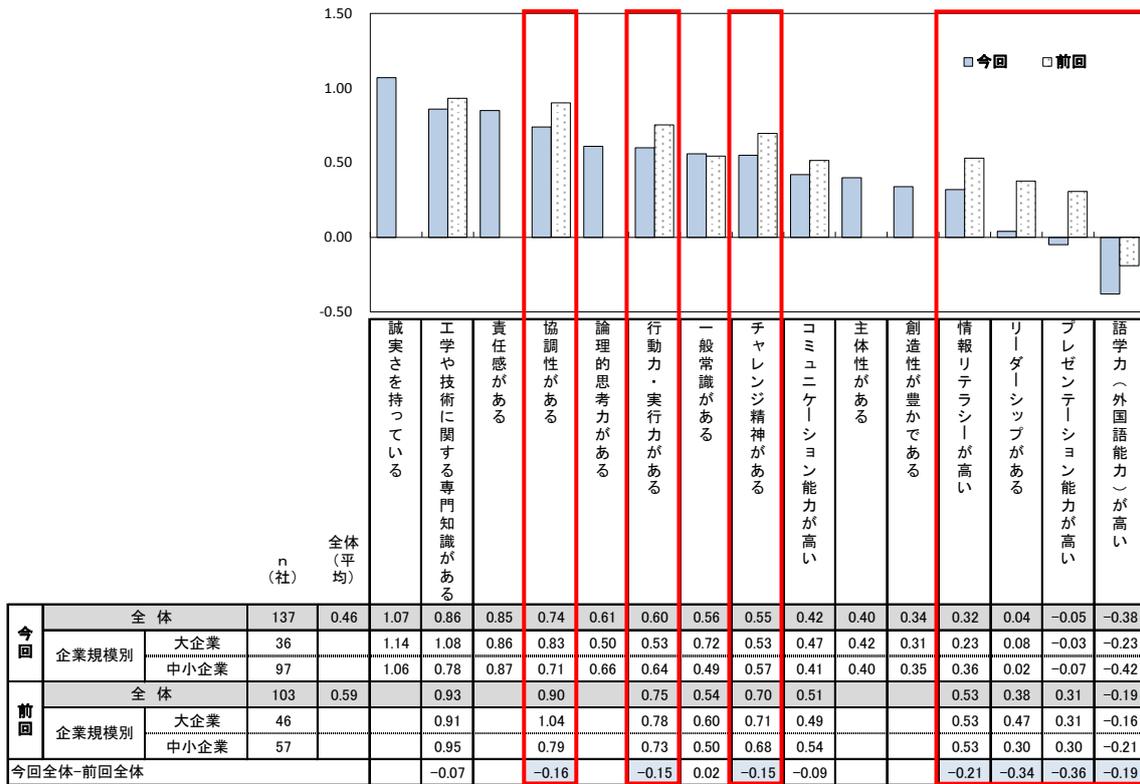
	n (社)	誠実さを持っている	協調性がある	チャレンジ精神がある	コミュニケーション能力が高い	行動力・実行力がある	責任感がある	主体性がある	工学や技術に関する専門知識がある	論理的思考力がある	一般常識がある	創造性が豊かである	リーダーシップがある	情報リテラシーが高い	プレゼンテーション能力が高い	語学力（外国語能力）が高い	
全体	273	1.61	1.58	1.54	1.54	1.53	1.52	1.34	1.25	1.18	1.15	1.02	0.90	0.79	0.58	0.20	
業種別	建設業	33	1.67	1.76	1.58	1.64	1.61	1.64	1.36	1.33	0.91	1.21	0.91	1.09	0.61	0.55	-0.18
	製造業	103	1.59	1.61	1.61	1.51	1.55	1.51	1.30	1.30	1.28	1.10	1.16	0.87	0.79	0.58	0.37
	電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.00	1.50	2.00	1.50	1.50	2.00	1.50	0.00	0.50	1.50	0.50	0.50	0.00	-0.50	-1.00
	情報通信業	38	1.58	1.45	1.47	1.63	1.55	1.50	1.37	1.13	1.26	1.29	0.92	0.97	1.05	0.53	0.13
	運輸業・郵便業	2	2.00	2.00	2.00	1.50	1.50	1.50	1.50	1.00	1.00	1.50	0.50	0.50	1.00	0.50	0.00
	卸売・小売業	14	1.57	1.29	1.57	1.07	1.36	1.29	1.07	1.14	1.00	0.93	1.07	0.93	0.93	0.79	0.43
	学術研究・専門・技術サービス業	35	1.56	1.51	1.51	1.69	1.51	1.54	1.43	1.40	1.14	1.06	1.11	0.94	0.71	0.89	0.40
	生活関連サービス業・娯楽業	1	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	教育・学習支援業	1	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	2.00	2.00	0.00	1.00	2.00	1.00	1.00
	複合サービス事業	2	2.00	2.00	2.00	1.50	2.00	2.00	1.00	1.50	1.00	0.50	1.00	0.50	0.50	1.00	0.00
	サービス業(他に分類されないもの)	26	1.50	1.42	1.19	1.42	1.23	1.27	1.15	1.19	0.96	1.19	0.77	0.54	0.65	0.35	-0.15
	公務(他に分類されるものを除く)	2	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.50	2.00	1.50	1.00	0.50
	分類不能の産業	2	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	0.00	-1.00
在籍場所	本科：荒川キャンパス	36	1.50	1.42	1.47	1.57	1.39	1.44	1.28	1.39	1.14	1.00	1.25	0.89	0.75	0.58	0.22
	本科：品川キャンパス	63	1.56	1.51	1.54	1.62	1.46	1.34	1.25	1.11	1.06	1.06	0.98	0.94	0.63	0.65	0.17
	本科：都立工業高等専門学校	39	1.54	1.41	1.51	1.36	1.54	1.41	1.23	1.18	1.15	0.97	1.00	0.97	0.69	0.67	0.31
	本科：都立航空工業高等専門学校	38	1.45	1.47	1.42	1.45	1.45	1.42	1.26	1.26	1.05	1.00	1.05	0.89	0.76	0.63	0.55
	本科：分らない	10	1.80	1.80	1.70	1.70	1.60	1.60	1.60	1.50	1.20	1.40	1.30	1.40	0.80	0.80	0.50
	専攻科：荒川キャンパス	5	1.20	1.40	1.20	1.40	1.20	1.20	1.20	1.60	1.20	1.00	1.40	0.80	0.20	0.60	0.40
	専攻科：品川キャンパス	10	1.50	1.80	2.00	1.70	1.60	1.70	1.40	1.50	1.10	1.00	1.00	1.00	0.80	0.90	0.60
	専攻科：分らない	3	2.00	2.00	2.00	2.00	1.67	1.67	1.67	2.00	1.67	1.67	1.33	1.67	1.33	1.67	0.67
	生産技術	29	1.55	1.69	1.55	1.48	1.55	1.55	1.43	1.21	1.21	1.24	1.17	1.10	0.66	0.72	0.48
	設計	54	1.56	1.48	1.41	1.42	1.44	1.41	1.28	1.44	1.17	0.96	1.09	0.89	0.85	0.80	0.57
採用時の職種別	研究・開発	19	1.58	1.74	1.58	1.58	1.79	1.68	1.44	1.37	1.26	1.26	1.05	0.89	0.74	0.74	0.53
	メンテナンス	47	1.55	1.57	1.64	1.60	1.51	1.38	1.34	1.19	1.04	1.19	1.02	0.94	0.55	0.53	0.04
	品質管理	18	1.89	1.83	1.72	1.61	1.72	1.94	1.65	1.33	1.28	1.50	1.28	1.17	0.72	0.72	0.39
	製造	39	1.46	1.56	1.51	1.51	1.51	1.38	1.21	1.18	1.10	1.00	1.00	0.90	0.64	0.50	0.18
	SE・PG	25	1.64	1.40	1.40	1.48	1.56	1.44	1.32	1.28	1.44	1.12	0.92	0.92	0.88	0.72	0.44
	設備	16	1.50	1.69	1.69	1.75	1.69	1.63	1.40	1.31	1.06	1.13	1.00	1.00	0.63	0.88	0.25
	営業	6	1.67	1.67	1.00	1.50	1.17	1.17	1.17	1.50	1.17	1.17	1.17	1.00	0.50	0.50	0.00
	サポート	5	1.40	1.80	1.40	1.40	1.60	1.40	1.40	1.40	1.20	1.00	1.20	1.00	1.00	0.80	0.80
	その他	13	1.92	1.69	1.62	1.77	1.85	1.85	1.77	1.38	1.31	1.62	1.54	1.38	0.92	0.62	0.15

0.5ポイント以上全体より高い 0.3~0.5ポイント未満全体より高い 0.5ポイント以上全体より高い 0.3~0.5ポイント未満全体より高い

## 5. 本校卒業生に対する項目別評価

- 今回調査の全体平均（加重平均）は「0.46」（ポイント）で、「どちらともいえない」（平均0ポイント）と「そう思う」（平均1ポイント）の中間レベル辺りの評価となっている。前回調査の全体平均（加重平均）「0.59」（ポイント）と比べると、若干ながら評価が下がっている。
- 今回調査では、「誠実さ」「責任感」「工学や技術に関する専門知識」「協調性」の評価が高い。それに次いで「行動・実行力」「一般常識」「論理的思考力」「チャレンジ精神」も比較的评价が高く（平均で0.5ポイント以上）、本校卒業生の評価は、企業が学生に高い期待を寄せる項目とほぼ合致している。
- 一方、前回より評価の下がった項目（平均で0.15ポイント以上下がった項目）としては、「プレゼンテーション能力」「リーダーシップ」をはじめ「情報リテラシー」「語学力」「協調性」「行動力・実行力」「チャレンジ精神」が挙げられる。

【図表 2-12 : 本校卒業生に対する項目別評価】



● 企業規模別をはじめ属性別で見た場合、全体平均と概ね同様の傾向にある。(0.3ポイント以上の差はない)

【図表 2-13 : 本校卒業生に対する項目別評価/その他属性別平均値】

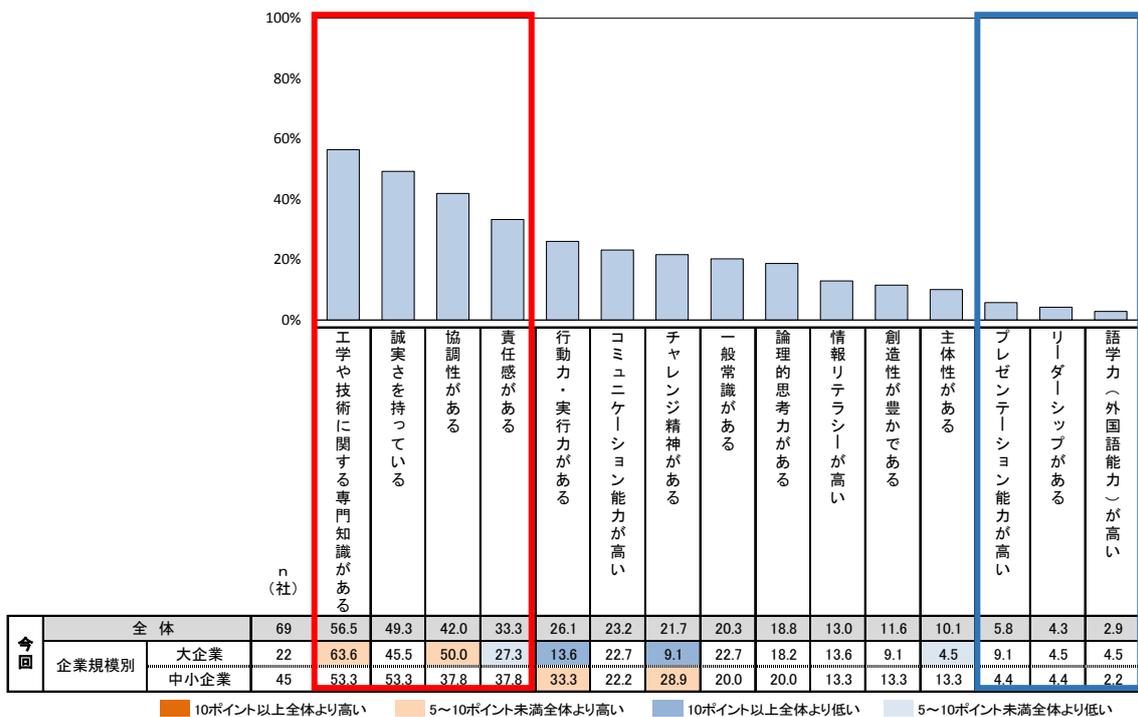
	n (社)	項目別評価														
		誠実さを持っている	工学や技術に関する専門知識がある	責任感がある	協調性がある	論理的思考力がある	行動力・実行力がある	一般常識がある	チャレンジ精神がある	コミュニケーション能力が高い	主体性がある	創造性が豊かである	情報リテラシーが高い	リーダーシップがある	プレゼンテーション能力が高い	語学力(外国語能力)が高い
全体	137	1.07	0.86	0.85	0.74	0.61	0.60	0.56	0.55	0.42	0.40	0.34	0.32	0.04	-0.05	-0.38
業種別																
建設業	14	1.00	1.00	1.14	0.86	0.79	0.64	1.00	0.50	0.50	0.50	0.21	0.43	0.21	-0.07	-0.21
製造業	61	1.03	0.77	0.80	0.67	0.51	0.58	0.46	0.53	0.33	0.34	0.33	0.20	-0.02	-0.10	-0.47
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情報通信業	18	0.94	1.06	0.67	0.61	0.72	0.50	0.39	0.61	0.39	0.44	0.39	0.61	0.06	-0.11	-0.11
運輸業・郵便業	1	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
卸売・小売業	7	1.29	0.86	1.00	0.71	0.71	0.57	0.57	0.57	0.14	0.43	0.43	0.43	-0.14	-0.14	-0.71
学術研究・専門・技術サービス業	16	1.00	0.89	0.88	0.81	0.31	0.75	0.50	0.44	0.56	0.38	0.06	0.13	0.00	0.00	-0.63
生活関連サービス業・娯楽業	1	2.00	1.00	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00
教育・学習支援業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
複合サービス事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	11	1.18	0.91	0.73	0.82	0.82	0.73	0.55	0.73	0.64	0.36	0.64	0.36	0.27	0.27	-0.18
公務(他に分類されるものを除く)	0	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分類不能の産業	2	1.50	1.50	1.50	1.50	0.50	0.50	1.00	1.00	1.50	1.50	1.00	0.50	0.50	0.00	0.00
在籍場所																
本科: 荒川キャンパス	37	1.19	0.92	0.92	0.84	0.43	0.58	0.57	0.42	0.41	0.35	0.16	0.03	0.08	-0.05	-0.33
本科: 品川キャンパス	63	1.08	0.84	0.86	0.76	0.60	0.60	0.60	0.52	0.41	0.44	0.35	0.32	0.05	0.00	-0.32
本科: 都立工業高等専門学校	37	1.08	0.95	0.84	0.78	0.59	0.68	0.73	0.54	0.65	0.30	0.35	0.03	-0.03	-0.03	-0.46
本科: 都立航空工業高等専門学校	36	1.08	0.81	0.83	0.56	0.58	0.56	0.56	0.47	0.28	0.25	0.11	0.25	-0.17	-0.06	-0.36
本科: 分からない	10	1.50	1.00	1.10	1.20	0.70	0.80	1.00	0.90	0.80	1.00	0.80	0.80	0.60	0.10	-0.30
専攻科: 荒川キャンパス	5	1.20	0.80	1.20	1.00	0.60	0.80	1.20	1.00	1.20	0.60	0.80	0.20	0.40	0.00	-0.40
専攻科: 品川キャンパス	9	1.22	1.11	1.00	0.89	0.89	0.67	0.67	1.00	0.44	0.67	0.56	0.22	0.00	0.11	-0.11
専攻科: 分からない	3	0.33	0.67	0.00	-0.33	0.33	0.33	-0.33	-0.67	-0.67	-0.33	-0.33	0.33	-1.33	-1.00	-1.00
採用時																
生産技術	27	1.11	0.81	1.00	0.74	0.44	0.70	0.70	0.59	0.48	0.44	0.30	0.22	0.15	0.04	-0.46
設計	48	1.10	0.85	0.90	0.71	0.60	0.55	0.48	0.57	0.48	0.38	0.33	0.27	0.06	-0.04	-0.32
研究・開発	17	1.35	0.94	0.94	0.94	0.71	0.85	0.85	0.88	0.71	0.71	0.53	0.06	0.12	0.06	-0.25
メンテナンス	45	1.04	0.90	0.90	0.78	0.53	0.82	0.67	0.41	0.47	0.38	0.27	0.22	0.04	-0.16	-0.53
品質管理	16	1.13	1.00	1.06	0.81	0.81	0.86	0.75	0.87	0.63	0.56	0.56	0.50	0.38	0.25	-0.27
製造	36	1.00	0.81	0.83	0.64	0.42	0.56	0.47	0.51	0.14	0.28	0.33	0.11	-0.06	-0.06	-0.43
職種別																
SE・PG	19	0.95	1.00	0.63	0.68	0.84	0.42	0.42	0.53	0.32	0.26	0.42	0.47	0.00	-0.05	-0.16
設備	13	1.31	1.15	1.08	0.92	0.77	0.92	1.00	0.62	0.69	0.46	0.33	0.08	0.15	0.00	-0.15
営業	6	1.17	0.83	1.33	0.83	0.67	0.67	0.83	0.67	0.67	0.33	0.83	0.67	0.50	0.00	-0.50
サポート	5	1.60	0.80	1.00	1.00	0.40	0.80	0.80	0.60	0.80	0.60	0.40	0.00	0.40	0.20	-0.80
その他	10	1.50	1.30	1.70	1.30	1.20	1.00	1.30	1.10	1.00	1.20	0.90	0.80	0.60	0.20	-0.20

0.5ポイント以上全体より高い 0.3~0.5ポイント未満全体より高い 0.5ポイント以上全体より高い 0.3~0.5ポイント未満全体より高い

## 6. 他的高専卒業生と比較した場合の、本校卒業生の評価ポイント

- 「工学や技術に関する専門知識」「誠実さ」「協調性」を評価する企業は4割を超えており、他的高専卒業生以上の評価をされているといえる。
- 上記に次いで「責任感」を評価する企業は3割を超えており、この項目も比較的评价が高い項目ととらえられる。
- あわせて上記4項目は、企業が学生に高く期待する項目に含まれており、このような企業のニーズに合致している点が、本校卒業生の総合的満足度の高さになっていると推測される。
- 一方、評価の低かった項目としては、「語学力」「リーダーシップ」「プレゼンテーション能力」が挙げられる。
- 企業規模別では、特に「行動力・実行力」と「チャレンジ精神」において、大企業の評価が低い傾向にあり、一方で中小企業での評価が高くなっている。

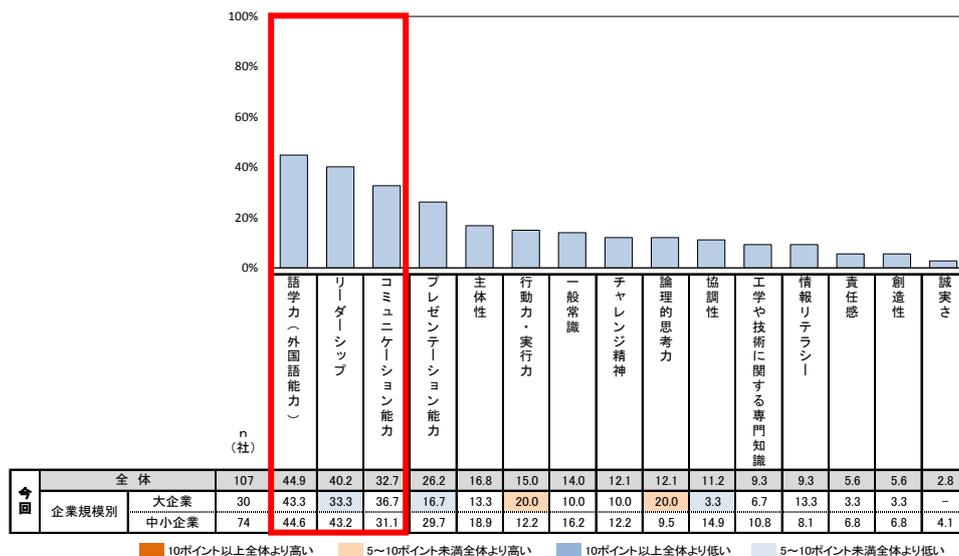
【図表2-14：他的高専卒業生と比較し本校卒業生を評価する項目/今回調査】



## 7. 他の大学卒業生と比較した場合における本校卒業生の不足ポイント

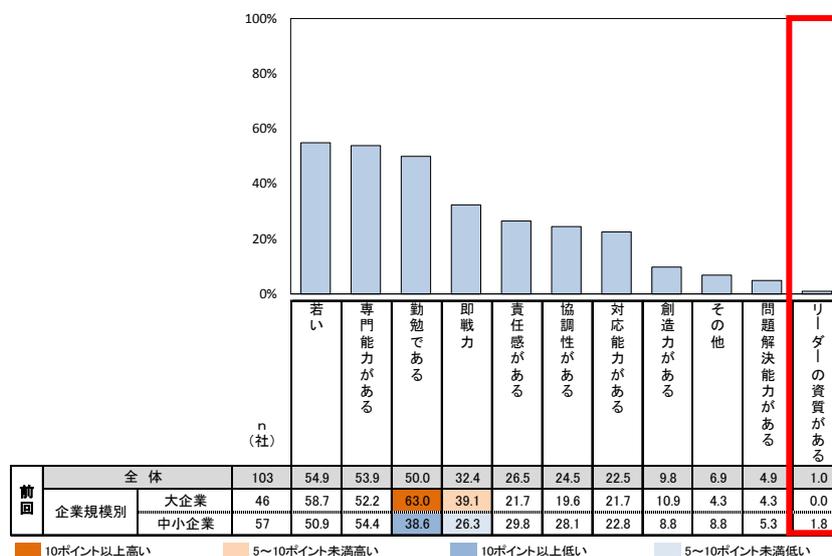
- 「語学力（外国語能力）」 「リーダーシップ」 の不足を指摘している企業が 4 割強。
- その他、「コミュニケーション能力」 の不足を指摘している企業も 3 割強存在。
- 企業規模別では、特に大企業が不足としている項目としては「行動力・実行力」と「論理的思考力」、中小企業が不足としている項目としては「リーダーシップ」「プレゼンテーション能力」「協調性」が挙げられる。

【図表 2-15：大学生と比較して本校卒業生の不足している項目/今回調査】



※ 前回調査とは設問形式が異なるため参考であるが、前回の調査と共通した項目のうち、「リーダーシップ/リーダーの資質がある」が今回調査と同様に低評価項目として挙げられる。

【図表 2-16：大学生と比較した本校卒業生の評価/前回調査】



- 今回調査で本校卒業生が不足している3項目を属性別でみると、「語学力」では業種別の「製造業」が、「リーダーシップ」では職種別の「製造」が、「コミュニケーション能力」では職種別の「設計」が平均よりやや高い傾向にある。

【図表2-17：大学生と比較した本校卒業生の不足している項目/その他属性別平均値】

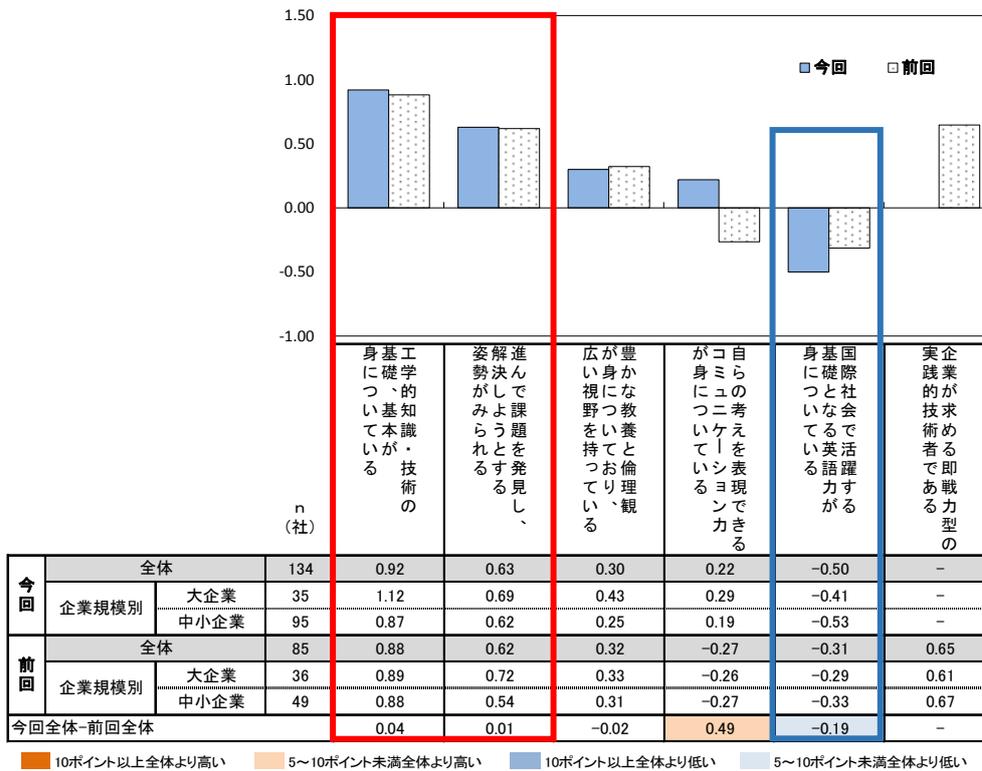
	n (社)	語学力 (外国語能力)	リーダーシップ	コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力	主体性	行動力・実行力	一般常識	チャレンジ精神	論理的思考力	協調性	工学や技術に関する専門知識	情報リテラシー	責任感	創造性	誠実さ
全体	107	44.9	40.2	32.7	26.2	16.8	15.0	14.0	12.1	12.1	11.2	9.3	9.3	5.6	5.6	2.8
業種別																
建設業	8	37.5	50.0	50.0	37.5	-	25.0	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5
製造業	51	51.0	37.3	33.3	19.6	17.6	17.6	13.7	15.7	21.6	3.9	13.7	11.8	7.8	7.8	3.9
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情報通信業	12	25.0	41.7	41.7	50.0	-	8.3	16.7	25.0	-	25.0	8.3	16.7	-	8.3	-
運輸業、郵便業	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卸売・小売業	6	66.7	16.7	33.3	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-
学術研究、専門・技術サービス業	14	50.0	42.9	14.3	42.9	21.4	14.3	21.4	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-
生活関連サービス業、娯楽業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育、学習支援業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
複合サービス事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	7	42.9	57.1	28.6	-	57.1	-	14.3	-	-	28.6	-	-	-	-	-
公務(他に分類されるものを除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分類不能の産業	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在籍場所																
本科:荒川キャンパス	28	39.3	35.7	28.6	28.6	21.4	10.7	7.1	14.3	10.7	7.1	7.1	10.7	3.6	7.1	-
本科:品川キャンパス	51	39.2	35.3	31.4	33.3	13.7	13.7	21.6	9.8	13.7	15.7	9.8	9.8	3.9	3.9	3.9
本科:都立工業高等専門学校	33	48.5	42.4	33.3	33.3	21.2	9.1	3.0	18.2	9.1	9.1	3.0	6.1	12.1	-	-
本科:都立航空工業高等専門学校	29	41.4	34.5	34.5	20.7	20.7	10.3	17.2	3.4	6.9	13.8	13.8	13.8	-	10.3	3.4
本科:分からない	5	60.0	60.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専攻科:荒川キャンパス	3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
専攻科:品川キャンパス	8	50.0	37.5	62.5	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5
専攻科:分からない	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-
採用時の職種別																
生産技術	20	40.0	40.0	30.0	30.0	20.0	5.0	-	10.0	20.0	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	-
設計	39	43.6	30.8	38.5	28.2	12.8	17.9	15.4	12.8	12.8	10.3	12.8	2.6	7.7	2.6	2.6
研究・開発	14	50.0	14.3	21.4	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	21.4	-	7.1	7.1
メンテナンス	35	42.9	40.0	34.3	25.7	20.0	11.4	5.7	11.4	11.4	11.4	8.6	8.6	5.7	8.6	2.9
品質管理	10	50.0	30.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-
製造	31	45.2	48.4	35.5	19.4	25.8	19.4	12.9	9.7	19.4	9.7	6.5	16.1	6.5	3.2	3.2
SE・PG	13	23.1	30.8	46.2	38.5	-	7.7	23.1	23.1	-	15.4	7.7	7.7	-	7.7	-
設備	10	30.0	60.0	30.0	30.0	20.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	10.0	10.0	-	-
営業	3	33.3	33.3	-	-	66.7	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
サポート	5	100.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-
その他	5	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

10ポイント以上全体より高い 5~10ポイント未満全体より高い 10ポイント以上全体より低い 5~10ポイント未満全体より低い

## 8. 本校の教育目標に対する卒業生の充足度

- 前回調査と共通する項目の平均(加重平均)をみると、前回調査とほぼ同様の評価。
- 教育目標と卒業生がある程度充足している項目としては「工学的知識・技術の基礎、基本が身につけている」が最も高く、次いで「進んで課題を発見し、解決しようとする姿勢がみられる」が挙げられる。
- 一方、充足度が低い項目としては「国際社会で活躍する基礎となる英語力が身につけている」が挙げられ、しかも「普通程度」(平均0ポイント)~「あまり評価していない」(平均-1ポイント)程度の評価(平均ポイント「-0.50」)となっている。

【図表 2 - 1 8 : 本校の教育目標に対する卒業生の充足度】



● 企業別をはじめ属性別では、全体平均と概ね同様の傾向にある。

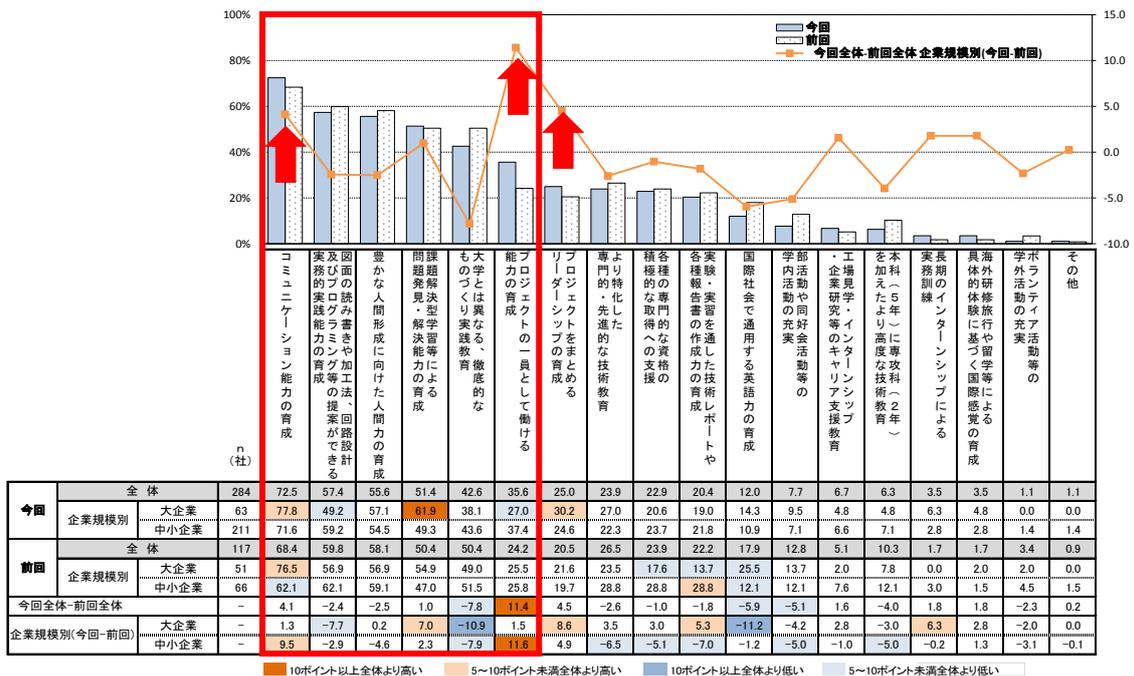
【図表 2 - 1 9 : 本校の教育目標に対する卒業生の充足度/その他属性別平均値】

	n (社)	基礎的知識・技術の身につけている	進んで課題を発見し、解決しようとする姿勢がみられる	豊かな教養と倫理観を持っており、広い視野を持っている	コミュニケーション能力を表現できる	国際社会で活躍する力がある	
全体	133	0.92	0.63	0.30	-0.50	0.22	
業種別	建設業	12	0.83	0.75	0.25	-0.40	0.42
	製造業	59	0.93	0.57	0.32	-0.55	0.15
	電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-
	情報通信業	18	1.00	0.50	0.17	-0.50	-0.06
	運輸業、郵便業	1	2.00	2.00	2.00	0.00	2.00
	卸売・小売業	7	1.00	0.86	0.43	-0.29	0.43
	学術研究、専門・技術サービス業	16	0.63	0.50	0.25	-0.50	0.31
	生活関連サービス業、娯楽業	1	1.00	1.00	1.00	-1.00	0.00
	教育、学習支援業	-	-	-	-	-	-
	複合サービス事業	-	-	-	-	-	-
	サービス業(他に分類されないもの)	11	0.91	0.73	0.27	-0.45	0.45
	公務(他に分類されるものを除く)	-	-	-	-	-	-
	分類不能の産業	2	2.00	1.00	0.50	0.00	1.00
	在籍場所	本料: 荒川キャンパス	36	1.03	0.75	0.31	-0.39
本料: 品川キャンパス		62	0.98	0.67	0.25	-0.56	0.30
本料: 都立工業高等専門学校		36	0.92	0.61	0.33	-0.63	0.28
本料: 都立航空工業高等専門学校		35	0.94	0.63	0.14	-0.53	0.06
本料: 分からない		10	1.20	1.00	0.90	-0.20	0.40
専攻科: 荒川キャンパス		5	1.20	1.00	0.60	-0.20	0.80
専攻科: 品川キャンパス		9	1.11	0.89	0.33	-0.33	0.22
専攻科: 分からない		3	1.00	-0.33	0.00	-0.67	-0.33
生産技術		27	0.96	0.70	0.41	-0.50	0.41
設計		45	0.84	0.56	0.18	-0.47	0.20
採用時	研究・開発	16	1.19	1.00	0.69	-0.19	0.50
	メンテナンス	43	0.95	0.70	0.37	-0.57	0.40
	品質管理	15	1.13	0.93	0.47	-0.27	0.47
	製造	35	0.91	0.53	0.14	-0.60	0.08
	SE・PG	18	1.00	0.67	0.28	-0.44	-0.06
	設備	13	1.08	0.77	0.38	-0.64	0.38
	営業	6	1.00	1.33	0.33	-0.17	0.83
	サポート	5	0.80	0.60	0.20	-0.80	0.60
	その他	10	1.30	1.20	0.80	0.00	0.60

## 9. 本校の教育について企業が望むこと

- 今回調査は、概ね前回調査と同様の傾向であり、「コミュニケーション能力の育成」を筆頭に、「図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成」「豊かな人間形成に向けた人間力の育成」「大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育」の5項目に対し、7～4割の企業が望んでいる。
- 上記に加え、今回調査では「プロジェクトの一員として働ける能力の育成」が唯一前回より10ポイント以上もアップし、3割強の企業が望む項目となった。
- その他「コミュニケーション能力」と「プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成」が前回と比べ5ポイント近くアップしている。
- 一方、「徹底的なものづくり実践教育」と「英語力の育成」「学内活動の充実」は前回と比べ5ポイント強ダウンしている。
- 企業規模別では、中小企業で「プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成」が前回と比べ10ポイント以上大きく上昇している。

【図表2-20：本校の教育について企業が望むこと/前回調査比較】



- その他の属性別を見た場合、企業の要望が高かった属性として、以下のものが挙げられる（次ページ参照）。

【図表 2-21：本校の教育について企業が望むこと/企業の要望が高かった属性まとめ】

コミュニケーション能力の育成	業種別で「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」での要望が高い
図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成	職種別で「設計」での要望が高い
豊かな人間形成に向けた人間力の育成	業種別で「サービス業(他に分類されないもの)」での要望が高い
課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成	職種別で「SE・PG」での要望が高い
大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育	業種別で「製造業」、職種別で「生産技術」「研究・開発」「製造」での要望が高い
プロジェクトの一員として働ける能力の育成	業種別で「建設業」、職種別で「SE・PG」での要望が高い
プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成	業種別で「建設業」、職種別で「SE・PG」での要望が高い
より特化した専門的・先進的な技術教育	該当なし
各種の専門的な資格の積極的な取得への支援	業種別で「建設業」、「情報通信業」での要望が高い
実験・実習を通じた技術レポートや各種報告書の作成力の育成	職種別で「設計」での要望が高い
国際社会で通用する英語力の育成	該当なし
部活動や同好会活動等の学内活動の充実	該当なし
工場見学・インターンシップ・企業研究等のキャリア支援教育	該当なし
本科(5年)に専攻科(2年)を加えたより高度な技術教育	職種別で「研究・開発」での要望が高い
長期のインターンシップによる実務訓練	該当なし
海外研修旅行や留学等による具体的な体験に基づく国際感覚の育成	該当なし
ボランティア活動等の学外活動の充実	該当なし

【図表 2-22：(参考)本校の教育について企業が望むこと/その他属性別】

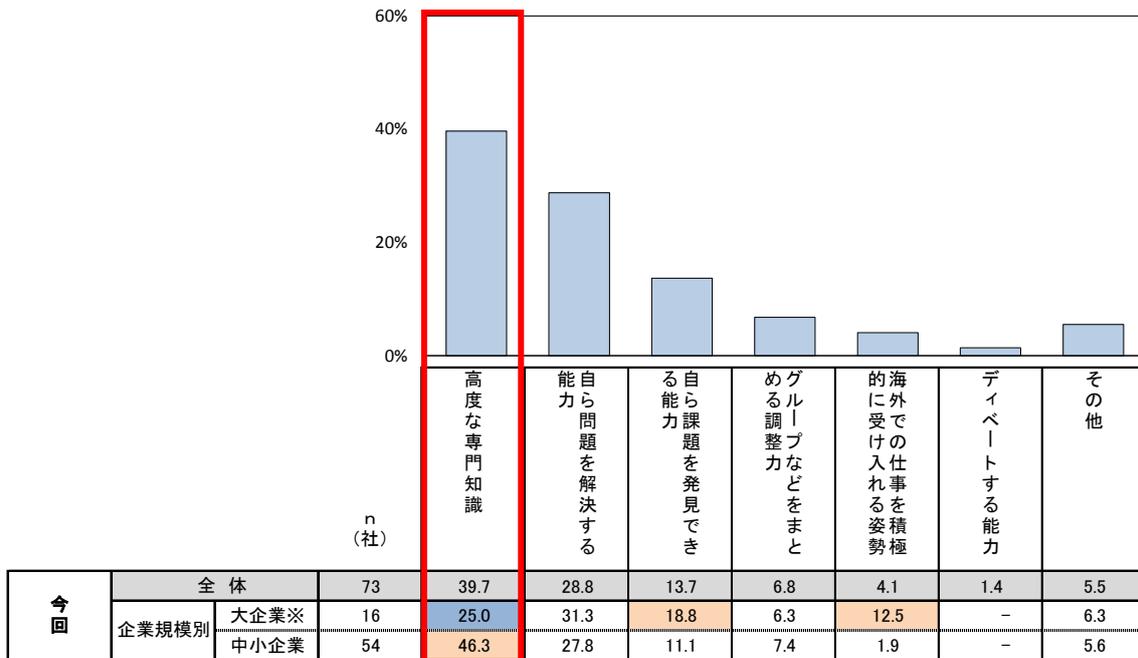
	n (社)	コミュニケーション能力	実務的実践能力の育成	図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる	豊かな人間形成に向けた人間力の育成	問題発見・型学習等による問題発見・解決能力の育成	大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育	プロジェクトの一員として働ける能力の育成	プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成	より特化した専門的・先進的な技術教育	各種の専門的な資格の積極的な取得への支援	実験・実習を通じた技術レポートや各種報告書の作成力の育成	国際社会で通用する英語力の育成	学内活動や同好会活動等の学内活動の充実	インターンシップ・企業研究等のキャリア支援教育	工場見学・インターンシップ・企業研究等のキャリア支援教育	本科(5年)に専攻科(2年)を加えたより高度な技術教育	長期のインターンシップによる実務訓練	海外研修旅行や留学等による具体的な体験に基づく国際感覚の育成	ボランティア活動等の学外活動の充実	その他
全体	284	72.5	57.4	55.6	51.4	42.6	35.6	25.0	23.9	22.9	20.4	12.0	7.7	6.7	6.3	3.5	3.5	1.1	1.1		
業種別																					
建設業	35	88.6	48.6	60.0	31.4	22.9	51.4	45.7	25.7	37.1	17.1	2.9	5.7	8.6	2.9	-	2.9	2.9	-	-	-
製造業	106	62.3	63.2	50.9	57.5	60.4	25.5	21.7	22.6	14.2	24.5	12.3	9.4	10.4	9.4	6.6	3.8	0.9	0.9	-	-
電気・ガス・熱供給・水道業	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
情報通信業	40	72.5	60.0	50.0	55.0	27.5	45.0	30.0	30.0	35.0	22.5	7.5	5.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5.0	-
運輸業・郵便業	3	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
卸売・小売業	16	68.8	56.3	56.3	31.3	43.8	37.5	18.8	43.8	6.3	6.3	43.8	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	35	82.9	54.3	60.0	54.3	40.0	37.1	14.3	11.4	25.7	25.7	20.0	8.6	2.9	8.6	-	5.7	-	-	-	-
生活関連サービス業、娯楽業	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育、学習支援業	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
複合サービス事業	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	27	70.4	51.9	66.7	40.7	37.0	29.6	22.2	33.3	25.9	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	-	-
公務(他に分類されるものを除く)	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分類不能の産業	3	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
在籍場所																					
本科・荒川キャンパス	37	78.4	59.5	51.4	54.1	45.9	37.8	16.2	21.6	16.2	16.2	16.2	16.2	8.1	13.5	2.7	5.4	-	-	-	-
本科・品川キャンパス	64	78.1	48.9	54.7	50.0	46.9	40.6	23.4	10.9	26.6	25.0	10.9	10.9	7.9	6.3	3.1	3.1	-	-	-	3.1
本科・都立工業高等専門学校	39	61.5	56.4	53.8	53.8	28.2	30.8	25.6	23.1	33.3	23.1	12.8	10.3	5.1	7.7	5.1	2.6	-	-	-	2.6
本科・都立航空工業高等専門学校	38	67.9	55.3	47.4	55.3	52.6	47.4	23.7	18.4	18.4	26.3	23.7	10.5	5.3	7.9	2.6	5.3	2.6	-	-	2.6
本科・分からない	10	80.0	80.0	80.0	30.0	30.0	50.0	40.0	20.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専攻科・荒川キャンパス	5	60.0	100.0	60.0	-	60.0	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-
専攻科・品川キャンパス	10	60.0	50.0	50.0	40.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	30.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-
専攻科・分からない	3	33.3	66.7	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
採用時																					
生産技術	29	55.2	51.7	41.4	55.2	56.6	37.9	34.5	17.2	17.2	27.6	17.2	-	10.3	13.8	3.4	6.9	3.4	3.4	-	3.4
設計	55	69.1	74.5	45.5	41.8	45.5	43.6	21.8	23.6	18.2	30.9	18.2	10.9	10.9	12.7	3.6	5.5	1.8	-	-	-
研究・開発	20	65.0	60.0	45.0	40.0	55.0	40.0	5.0	20.0	30.0	30.0	20.0	5.0	15.0	20.0	-	-	-	-	-	5.0
メンテナンス	49	73.5	42.9	55.1	51.0	40.8	30.6	28.6	22.4	28.6	24.5	14.3	10.2	8.2	2.0	2.0	4.1	-	-	-	-
品質管理	19	73.7	42.1	63.2	47.4	57.9	36.8	42.1	10.5	21.1	31.6	15.8	-	10.5	5.3	-	5.3	-	-	-	5.3
製造	40	67.5	50.0	50.0	50.0	60.0	35.0	20.0	15.0	27.5	27.5	12.5	5.0	12.5	5.0	2.5	2.5	-	-	-	-
SE・PG	25	60.0	64.0	48.0	76.0	44.0	48.0	36.0	28.0	24.0	12.0	4.0	-	4.0	4.0	-	-	-	-	-	4.0
設備	16	75.0	25.0	62.5	50.0	25.0	31.3	43.8	12.5	31.3	25.0	18.8	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-	-
営業	6	83.3	83.3	50.0	-	50.0	66.7	50.0	16.7	-	-	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-	-	-
サポート	5	100.0	20.0	80.0	60.0	-	40.0	40.0	-	40.0	40.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	13	92.3	46.2	84.6	53.8	38.5	23.1	15.4	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	7.7	7.7	-	-	7.7

10ポイント以上全体より高い 5~10ポイント未満全体より高い 10ポイント以上全体より低い 5~10ポイント未満全体より低い

## 10. 専攻科で望まれる教育

- 「専門的知識の育成」を望む傾向が強かった前回調査（FA）の傾向と同様、今回調査においても「高度な専門知識」を望む企業が約4割と、最も高い項目となっている。（特に中小企業のニーズが高い）

【図表 2 - 2 3 : 専攻科で望まれる教育 / 今回・企業規模別】



【図表 2 - 2 4 : 専攻科で望まれる教育 / 今回・企業規模別】

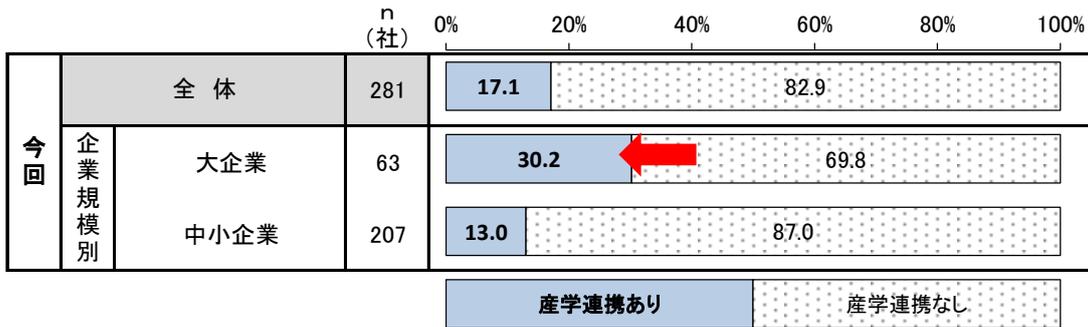
大企業	自己分析能力、自己判断能力、実行力など
	処理能力、専門知識の育成、課題発見(改善など)、ものづくりの実践教育
中小企業	有限要素法をはじめとする高度技術習得のための基礎能力を磨いてほしい。
	専門性
	ITに関係した専門的知識の育成
	個人が知識を深めたい専門分野を選択出来るようにして、テーマを決めて専修する。
	専門知識も重要ですが、数学、国語、化学、物理などの基礎学習にも力を注いでいただきたい。
	ビルメン業界はスペシャリストが不可欠であり、将来技術部門の役員を担える人材が欲しい
	創造力、解決能力、専門的知識の育成
学問と実務が年々かけはなれていくなかで、実務に近い知識とインターンシップにより、即戦力がより期待出来るから	
創造力、解決能力等	

## 11. その他の調査ポイント

### 11.1 企業における産学連携の有無とその内容

- 「産学連携あり」は17.1%で、特に大企業での取り組みが多い。
- 「産学連携の取り組み内容（F A）」としては、技術・製品開発／共同研究に関するものが挙げられている。

【図表 2-25：企業における産学連携の有無】



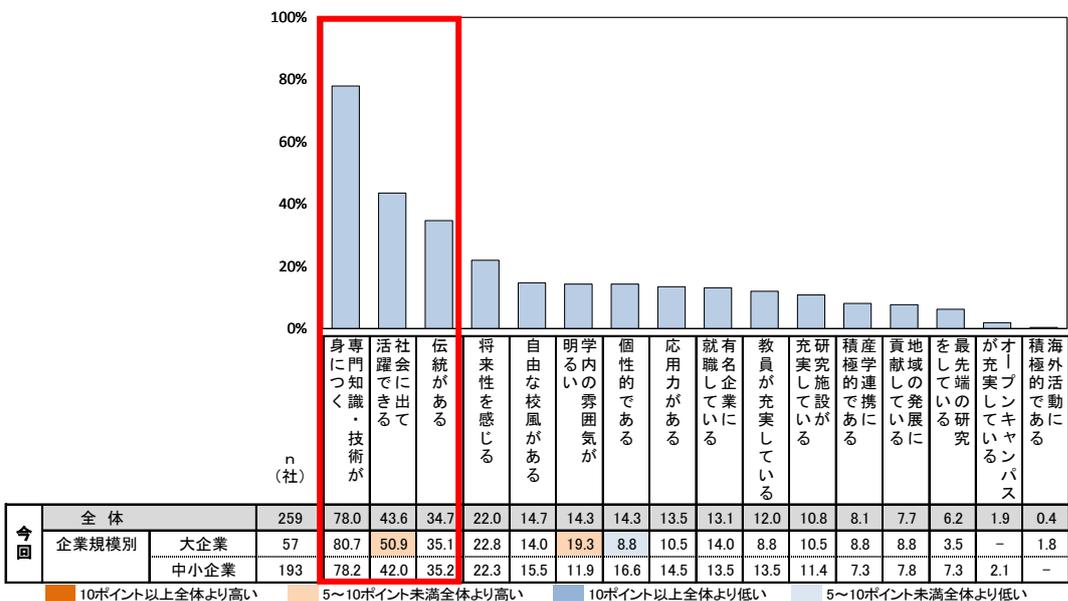
【図表 2-26：産学連携の取り組み内容（F A）】

技術・製品開発／共同研究	経産省、東京都等の助成金による製品開発／技術開発において、東大、電通大、首都大学東京へ研究委託 新しい配管システムや装置の開発、腐食防食技術や排水処理設備の調査・研究について関連する大学研究室と共同研究を行い、製品化、特許取得、関連学会への研究成果発表などを行っている。
--------------	--

### 11.2 本校のイメージ・印象

- 「専門知識・技術が身につく」イメージが約8割と最も高く、次いで「社会に出て活躍できる」「伝統がある」イメージが高い。

【図表 2-27：本校のイメージ・印象】



### 11.3 リカレント教育についての要望

- 「技術面の教育」への要望よりも、コミュニケーションやマナーなど「技術面以外の教育」を求める声が比較的多い。その他としては「資格取得のための教育」や「卒業生と在校生との交流」などが挙げられている。

【図表 2-28：リカレント教育についての要望（FA）】

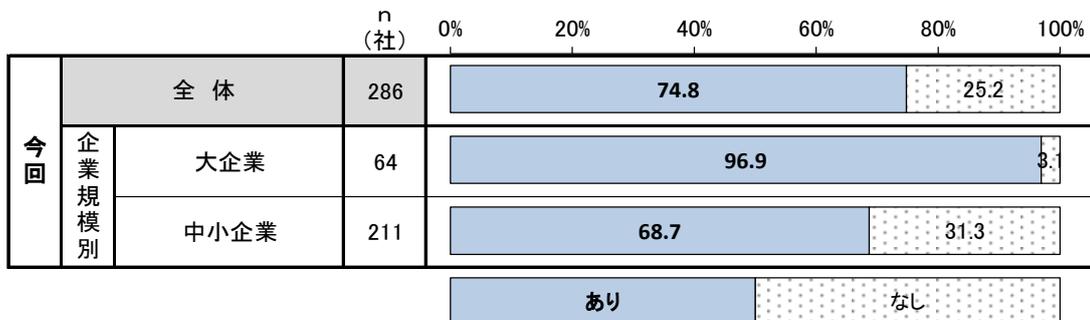
技術面のリカレント教育	学生時代に深く学ぶ事ができなかった技術を、更に深める為にリカレント教育に参加する事は、良いと考えます。19:00～21:00又は、土曜、日曜日、等の開催があれば、助かります。
技術面以外のリカレント教育	協調性、コミュニケーション等、ビジネスマナーの向上。 技術的な部分より、社会人としての一般教養を復習してもらいたい。 技術力と同等に、あいさつ、協調性、コミュニケーションが重要です。一般教養と常識について、一段とご指導を御願ひします。 会社での「責任」に対して、耐えるための「リカレント教育」ができれば有効かと考えます。 技術的な教育はOJTで実施出来る。自己マネージメント等のリカレント教育を望む(コミュニケーションスキル、問題解決etc) 社会人になって生じる困難なこと、特に心理的なことの指導などをしていただけたら、と思います。 身だしなみや言葉遣い等、社会人になる前のマナーをきちんと学んでいただけてほしいです。
資格取得のための教育	資格取得に向け、再教育制度があれば良いと思います。当社にも資格取得に向け日々取り組んでいますが、業務との両立に苦しんでいます。 当社では技能検定を受験することを推奨している。今年は機械検査とNC旋盤2級を受ける予定。講師をさがすのに苦労しています。
卒業生と在校生との交流	学問、知識という観点の教育よりも、様々な卒業年度のOB、OGと現役生とで交流を持ち、自らの将来像を思い描けるような交流の場を設けて頂けると若者のためになるのではないかと思います。 卒業生が吸収した知識や経験を講師として、同日に集まった卒業生や在校生へ「教える」又は「伝える」プレゼンテーションができる時間をリカレント教育として導入していただきたく考えます。 卒業生にアナウンスをお願いします。
分野を問わずリカレント教育を望む	卒業専攻科で修得した技術以外が業務上必要な場合はリカレント教育があれば利用できるのではないかと思います。 弊社はゲーム会社の為、非常に早い変化、進化が求められます。新しいことを学び続けることが重要なため、その為のフォローアップを期待します。 当社は中小企業ではありますが、ある分野においては業界上位に位置します。若い日本人技術者の育成なしに今後日本の発展はあり得ません。大企業だけでなく中小へ若者の目を向けていただける様、就業後も再教育を受ける受け皿としても大いに期待しております。 本人も希望し、業務に直結する内容であればとても良い事に思います。 会社に入ることで、学習によって培った実務的実践能力から、離れてしまうこともあると思います。その際に、改めて、実践能力を勉強し直せるようなカリキュラムがあると良いのかもしれない。 卒業生にとっては通いやすく、良いシステムであると考えます。一方で、学生の気分が抜けないのでは困りますので、社会人としての自覚を再認識できるような内容である良いと思います。 企業による社員教育から、社員が自ら学習する時代に入っていると思います。従って貴校にはリカレント教育の受皿機能充実を期待します。 今後の社会の発展、技術の進歩の速さに伴い社会に出てからも状況に応じてスキルアップの必要は多々出てくると思います。その節にはよろしくお願ひしたいと思います。
その他	中小企業への就職のより積極的な説明 リカレント教育については非常に良い事と思いますが、運用方法が一番難しいと思います。企業には、企業の方針や考え方ががあるので、マンツーマンでの教育方法を確立できれば非常に喜ばしいと思います。 タフな技術者の育成 貴校の技術力を卒業生を通じ協同開発出来たら、又は技術を活かせるならと思います。産学連携に期待します。 システムとしての要望は特にありませんが、学生時代に使っていたノートが、仕事などで利用することがあると耳にします。 英語力の強化。昇格等でTOEICの点数も要件に入りつつあります。 特になし(入社後は社内教育にてスキルアップを行うため)

## 12. 高専卒業生及び本校卒業生の雇用状況等

### 12.1 直近5年度での高専卒業生の雇用の有無と雇用者数、初任給額

- 回答企業の内、雇用があった企業は、74.8%。

【図表2-29：高専卒業生の雇用の有無】



- 雇用があった企業における、直近5年度での1社当たり平均雇用者数は12.5人。(※中央値は4人。また、100人以上の回答4社)
- 雇用があった企業における平成24年度の平均初任給額は、本科卒業生が18.6万円、専攻科卒業生が19.9万円。

### 12.2 直近5年度での本校卒業生の雇用の有無と雇用者数

- 本質問の回答企業の内、本校卒業生の雇用があった企業は、67.8%。(214社中145社)
- (上記の)高専全般と比べた場合、特に大企業での雇用が低い。

【図表2-30：本校卒業生の雇用の有無】



- 本校卒業生の雇用があった企業の内、専攻科卒業生の雇用があった企業は、22.1%。
- 本校卒業生の雇用があった企業における、直近5年度での1社当たり平均雇用者数は、本科卒業生が3.3人、専攻科卒業生が1.3人。

- 在籍場所別雇用者数では、「本科：荒川キャンパス（62人）」と「本科：品川キャンパス（105人）」で計167人。「本科：都立工業高等専門学校（78人）」と「本科：都立航空工業高等専門学校：（57人）」で計135人。その他は下記の通り。

【図表2-31：本校卒業生の在籍場所別雇用者数】

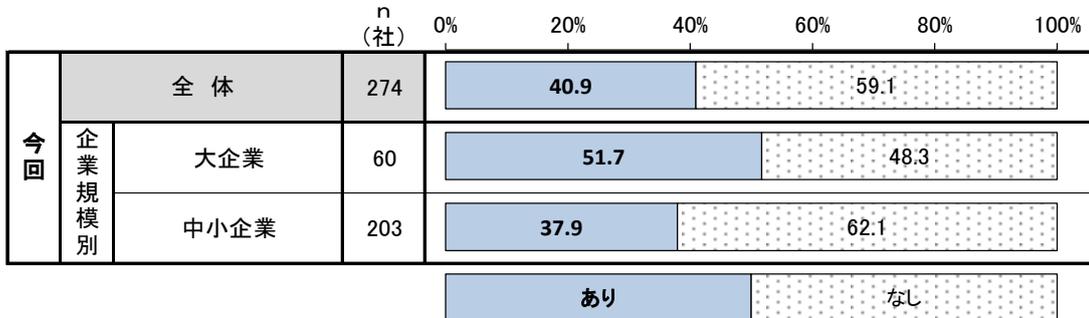
	n (社)	雇用者数の合計
本科：荒川キャンパス	37	62
本科：品川キャンパス	64	105
本科：都立工業高等専門学校	39	78
本科：都立航空工業高等専門学校	38	57
本科：分からない	10	23
専攻科：荒川キャンパス	5	8
専攻科：品川キャンパス	10	11
専攻科：分からない	3	3

※集計対象：各在籍場所の雇用者が「1人」以上の回答

### 12.3 直近5年度での本校卒業生の学校推薦の有無と今後の継続意向

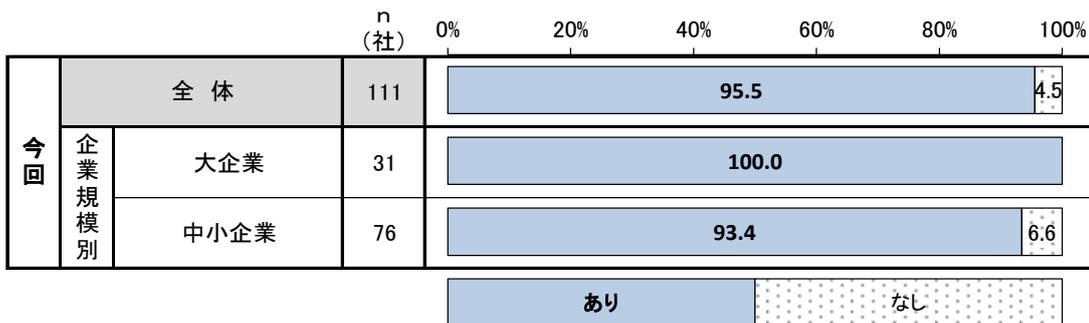
- 回答企業の内、学校推薦があった企業は、40.9%。

【図表2-32：本校卒業生の学校推薦の有無】



- 学校推薦があった企業における、今後の継続意向をもつ企業は95.5%と非常に高い。

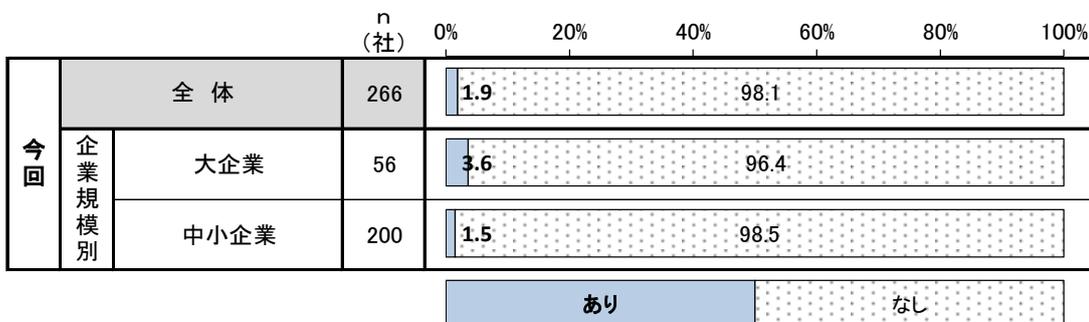
【図表2-33：学校推薦の今後の継続意向】



### 12.4 直近5年度での本校卒業生の海外赴任の有無

- 回答企業のうち海外赴任のあった企業は、1.9%。(本校卒業生の雇用企業145社のうち海外赴任のあった企業は、3.4%)

【図表2-34：本校卒業生の海外赴任の有無】



## 第3部 総合分析結果

### 調査結果のまとめと総合分析

#### 本校卒業生の採用時の職種

- 本校卒業生の採用の多い職種は、「設計」「メンテナンス」「製造」。
- 前回調査と比べほぼ同様の傾向ではあるが、「製造」が増加しているとともに、中小企業での「メンテナンス」の採用が増加している。
- 高専全般と比べると、「製造」と「メンテナンス」において、本校卒業生の割合がやや高い。

#### 本校卒業生の離職状況

- 本校卒業生の離職出現率は、前回 44.7%に対し今回 22.1%と約 1/2 にまで減少。
- 前回調査と比べ、特に大企業での出現率が大きく減少。(ただし、今回調査では直近5年度の実績、前回調査では期間を定めず、という違いはあることに留意)
- 1企業当たり離職数も、前回 2.05人、今回 1.65人と減少傾向。
- 離職時に多い職種は「メンテナンス」。(次いで「設計」、「SE、PG」)

#### 本校卒業生の総合的満足度

- 「本校卒業生の総合満足度」においては、「満足している (TOP 2BOX)」企業が8割を超え、本校卒業生は採用企業に総合的に評価されているととらえられる。

#### 本校卒業生の項目別総合評価

- 本校卒業生の項目別評価においては、「誠実さ」「専門知識」「責任感」などの評価が高く、他の高専卒業生と比べても高く評価されている。
- 一方、課題視点に立って調査結果をまとめると、次ページの表にまとめられる。総じて評価の低かった項目としては「語学力」「プレゼンテーション能力」「リーダーシップ」が挙げられる。また、特に企業の期待値が高く、課題のある項目としては「協調性」「行動力・実行力」「チャレンジ精神」「コミュニケーション能力」が挙げられる。

【図表3-1：課題視点に立った項目別評価分析表】

	本校卒業生の絶対評価				相対評価		企業の期待値が高かった項目
	平均	絶対評価の低かった項目	前回調査より低かった項目	企業の期待値と違った項目	他の高専卒業生と比べた項目	大学生と比べて不足していた項目	
誠実さを持っている	1.07						◎
工学や技術に関する専門知識がある	0.86						○
責任感がある	0.85						◎
協調性がある	0.74		×	×			◎
論理的思考力がある	0.61						○
行動力・実行力がある	0.60		×	×			◎
一般常識がある	0.56						○
チャレンジ精神がある	0.55		×	×			◎
コミュニケーション能力が高い	0.42			×			◎
主体性がある	0.40			×			○
創造性が豊かである	0.34						○
情報リテラシーが高い	0.32		×				△
リーダーシップがある	0.04	×	×	×	×	×	△
プレゼンテーション能力が高い	-0.05	×	×		×	×	△
語学力(外国語能力)が高い	-0.38	×	×		×	×	△

■ 国立高等専門学校機構の「高等専門学校のあり方に関する調査」（平成18年）の調査結果と比較した場合、機構の調査で最も企業の期待値が高かった「専門知識」が今回の調査ではランクを大幅に下げている（第8位）ことは、大きな企業ニーズの変化が感じられる。

■ その意味で、今回の調査結果で取り上げられた「企業の期待値が高く、卒業生の評価とのギャップが大きい項目」は、特に重視する必要があるととらえられる。

■ 経済産業省の「大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査」（平成21年）では、企業は語学力や業界の専門知識等の「技術・スキル系の能力要素」よりも、「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション力」といった内面的な基本能力の不足が指摘されている点も、上記と連動する変化ととらえられる。

■ また、この経産省の調査で取り上げられた「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション力」に加え「前に踏み出す力」や「実行力」の項目は、今回調査の「企業の期待値が高く、卒業生の評価とのギャップが大きい項目」と概ね一致している点も重要なポイント。

## 本校の教育目標に対する卒業生の充足度

- 前回調査と同様、「工学的知識・技術の基礎、基本」及び「課題発見・解決姿勢」の評価は高かったが、前回調査と比べ「英語力」の評価が低下している。

## 本校の教育について企業が望むこと

- 「本校に望む教育」においては、「コミュニケーション能力の育成」を筆頭に、「図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成」「豊かな人間形成に向けた人間力の育成」「大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育」「プロジェクトの一員として働ける能力の育成」が求められている。（前回調査とほぼ同様の結果）
- 前回調査と比べ、「コミュニケーション能力の育成」と「プロジェクトの一員として働ける能力の育成」への要望が前回調査を10ポイント前後も上回っている他、次いで「プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成」も前回調査より高かった。
- その他属性別の特色を含めてのまとめ（総合分析）としては、以下の通りで、特に企業の要望が高く、前回調査よりアップした項目として「コミュニケーション能力の育成」と「プロジェクトの一員として働ける能力の育成」が重要項目になるととらえられる。（この2項目は、中小企業の要望としても前回調査よりアップしている）

【図表 3-2 : 「本校の教育について企業が望むこと」のまとめ一覧】

	の全体高かった項目	前回調査より高かった項目	前回調査より高かった項目	前回調査より高かった項目	その他属性別で、特に要望の高かった項目
コミュニケーション能力の育成	◎	○		○	業種別で「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」での要望が高い
図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成	◎				職種別で「設計」での要望が高い
豊かな人間形成に向けた人間力の育成	◎				業種別で「サービス業(他に分類されないもの)」での要望が高い
課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成	◎		○		職種別で「SE・PG」での要望が高い
大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育	◎				業種別で「製造業」、職種別で「生産技術」「研究・開発」「製造」での要望が高い
プロジェクトの一員として働ける能力の育成	○	◎		◎	業種別で「建設業」、職種別で「SE・PG」での要望が高い
プロジェクトをまとめるリーダーシップの育成		○	○		業種別で「建設業」、職種別で「SE・PG」での要望が高い
より特化した専門的・先進的な技術教育					該当なし
各種の専門的な資格の積極的な取得への支援					業種別で「建設業」、「情報通信業」での要望が高い
実験・実習を通じた技術レポートや各種報告書の作成力の育成			○		職種別で「設計」での要望が高い
国際社会で通用する英語力の育成					該当なし
部活動や同好会活動等の学内活動の充実					該当なし
工場見学・インターンシップ・企業研究等のキャリア支援教育					該当なし
本科(5年)に専攻科(2年)を加えたより高度な技術教育					職種別で「研究・開発」での要望が高い
長期のインターンシップによる実務訓練			○		該当なし
海外研修旅行や留学等による具体的体験に基づく国際感覚の育成					該当なし
ボランティア活動等の学外活動の充実					該当なし

■ 前回調査と比べ、「コミュニケーション能力」と「プロジェクトの一員として働ける能力」に対して中小企業のニーズがアップしたことは、経団連の調査(※)にみられたような、これまで大企業を中心としたニーズとして重視されてきた「コミュニケーション能力」や「チームワーク・協調性」が、中小企業レベルまでより浸透してきたことが背景にあるのではないかととらえられる。(※経団連「産業界の求める人材像と大学教育への期待に関するアンケート結果」)

## 4部 資料編

- アンケート調査票原票
- 単純集計結果

# 企業による卒業生評価に関するアンケート調査

## <ご回答にあたってのお願い>

1. アンケート内に記載のある**本校**とは、「東京都立産業技術高等専門学校」を指します。また本校の統合・再編前の組織である「東京都立工業高等専門学校」、「東京都立航空工業高等専門学校」についても本校に含めてお答え下さい。
2. アンケート内の「本科」、「専攻科」については、以下の通りです。  
 本科：高専の通常の教育課程（5年）。旧東京都立工業高等専門学校・東京都立航空工業高等専門学校を含む  
 専攻科：本科（5年）終了後、さらに2年間の高度な専門知識及び技術を学ぶ教育課程
3. ご回答は、下記のとおりをお願いいたします。

### ①回答が選択式の場合

- ・該当する選択肢の**番号（数字）**に○をお付けください。1つだけに○を付ける形式と、あてはまるもの複数に○を付ける形式があります。各設問の指示に従い○をお付けください。
- ・選択式の設問の選択肢の中で「その他」に○を付けた場合、横の（ ）内に**その他の内容**を自由にお書きください。※「その他」の横に（ ）がない選択肢もございます。

### ②回答が数字の記入の場合

枠内に適切な**数字**をご記入ください。

### ③回答が自由形式の場合

枠内に自由なお考えやご意見をご記入ください。

## 1. 貴社の概要について

Q1. 貴社の主な業種（日本標準産業分類に基づく）を以下の中から1つお選びください。

農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業
1	2	3	4
製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業
5	6	7	8
卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業
9	10	11	12
宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉
13	14	15	16
複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	分類不能の産業
17	18	19	20

Q2. 貴社の資本金および従業員（正社員）数をそれぞれ教えてください。また、直近5年度（平成20～24年度まで。平成24年度は回答日現在）の採用者数（新卒採用者の合計数）をお答えください。

資本金	従業員（正社員）数	平成20～24年度（回答日現在）までの採用者数（新卒採用者の直近5年計）
万円	人	人

Q3. 平成24年度の高専卒業生の初任給額（本科生、専攻科生別）をお答えください。高専卒業生の新卒採用（初任給設定）がない場合、「3」をお選びください。

1. 高専初任給（本科卒業生）	2. 高専初任給（専攻科卒業生）	3. 高専卒業生の新卒採用（初任給設定）はない
万円	万円	

## 2. 採用・人事の状況について

Q4. 以下の4つの項目について、貴社における採用・人事上の現況を「あり」「なし」でお答えください。

	あり	なし
① 直近5年度で、高専卒業生（本校を含む全ての高専）の雇用はありましたか	1	2
② 直近5年度で、本校卒業生の雇用はありましたか	1	2
②-1 本校卒業生の雇用がある場合、専攻科卒業生の雇用はありましたか	1	2
③ 直近5年度で、本校卒業生の学校推薦はありましたか	1	2
③-1 本校卒業生の学校推薦がある場合、今後の継続意向はありますか	1	2
④ 直近5年度で、本校卒業生の海外への赴任はありましたか	1	2

Q5. (Q4の①で、高専卒業生（本校を含む全ての高専）の雇用が「あり」と回答した方)

直近5年度で、高専卒業生の雇用者数をお答えください。（※おおよその人数で構いません）

高専卒業生の雇用者数（直近5年計）
人

Q5-1. 高専卒業生の採用時の職種について、あてはまるもの全てお選びください。

生産技術	設計	研究・開発	メンテナンス
1	2	3	4
品質管理	製造	SE・PG	設備
5	6	7	8
営業	サポート	その他（ ）	
9	10	11	

## 3. 本校卒業生の就業状況について

Q6. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

直近5年度で、本校卒業生の雇用者数（本科生、専攻科生別）をお答えください。（※おおよその人数で構いません）

本校本科卒業生の雇用者数	本校専攻科卒業生の雇用者数
人	人

Q6-1. 本校卒業生の雇用者の在籍場所ごとの人数（本科生、専攻科生別）を教えてください。

Q6の雇用者数の内訳という形式でお考えください。

	荒川キャンパス	品川キャンパス	都立工業高等 専門学校	都立航空工業高等 専門学校	分からない
本科卒業生	人	人	人	人	人
専攻科卒業生	人	人	<del>人</del>	<del>人</del>	人

Q6-2. 本校卒業生の採用時の職種について、あてはまるもの全てお選びください。

生産技術	設計	研究・開発	メンテナンス
1	2	3	4
品質管理	製造	SE・PG	設備
5	6	7	8
営業	サポート	その他（ ）	
9	10	11	

Q7. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

直近5年度の本校卒業生の雇用者で、現在までの離職者はおりますか。  
離職者がいる場合、離職者数をお答えください。

わからない	いない	いる	→	離職者数
1	2	3		人

Q7-1. 本校卒業生の離職時の職種について、あてはまるもの全てお選びください。

生産技術	設計	研究・開発	メンテナンス
1	2	3	4
品質管理	製造	SE・PG	設備
5	6	7	8
営業	サポート	その他 ( )	
9	10	11	

Q7-2. 離職時の理由について、差し支えない範囲でお答えください。

理由が不明の場合は「X. わからない」をお選びください。

X. わからない

Q8. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

本校の卒業生について、次の各項目の評価を「1」(非常にそう思う)～「5」(全くそう思わない)から1つずつお選びください。

また、各項目において、本校卒業生を他の高専卒業生と相対的に比較し、本校卒業生を評価している項目を全てお選びください。「他の高専生との比較」欄の1～15からあてはまる項目全てに○をつけてください。

	非常に そう思う 1	そう 思う 2	どちら か 3	そう 思わ ない 4	全く そう 思わ ない 5	他の高専生 との比較
① 工学や技術に関する専門知識がある	1	2	3	4	5	1
② 行動力・実行力がある	1	2	3	4	5	2
③ 責任感がある	1	2	3	4	5	3
④ 協調性がある	1	2	3	4	5	4
⑤ チャレンジ精神がある	1	2	3	4	5	5
⑥ コミュニケーション能力が高い	1	2	3	4	5	6
⑦ 創造性が豊かである	1	2	3	4	5	7
⑧ 主体性がある	1	2	3	4	5	8
⑨ 誠実さを持っている	1	2	3	4	5	9
⑩ 論理的思考力がある	1	2	3	4	5	10
⑪ 一般常識がある	1	2	3	4	5	11
⑫ リーダーシップがある	1	2	3	4	5	12
⑬ 情報リテラシーが高い	1	2	3	4	5	13
⑭ 語学力(外国語能力)が高い	1	2	3	4	5	14
⑮ プレゼンテーション能力が高い	1	2	3	4	5	15

Q9. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

本校の卒業生を他の大学卒業生と相対的に比較し、本校の卒業生に不足している項目を全てお選びください。

工学や技術に関する専門知識	行動力・実行力	責任感	協調性
1	2	3	4
チャレンジ精神	コミュニケーション能力	創造性	主体性
5	6	7	8
誠実さ	論理的思考力	一般常識	リーダーシップ
9	10	11	12
情報リテラシー	語学力(外国語能力)	プレゼンテーション能力	
13	14	15	

Q10. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

本校の卒業生について、総合的な満足度をお選びください。

	満足度 1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度 5
本校卒業生に対する総合満足度	1	2	3	4	5

Q11. (全員の方)

学生を採用する際、学生に期待する以下の能力・資質について、項目ごとに最もあてはまるお考えを1つずつお選びください。

	満足度 1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度 5
① 工学や技術に関する専門知識がある	1	2	3	4	5
② 行動力・実行力がある	1	2	3	4	5
③ 責任感がある	1	2	3	4	5
④ 協調性がある	1	2	3	4	5
⑤ チャレンジ精神がある	1	2	3	4	5
⑥ コミュニケーション能力が高い	1	2	3	4	5
⑦ 創造性が豊かである	1	2	3	4	5
⑧ 主体性がある	1	2	3	4	5
⑨ 誠実さを持っている	1	2	3	4	5
⑩ 論理的思考力がある	1	2	3	4	5
⑪ 一般常識がある	1	2	3	4	5
⑫ リーダーシップがある	1	2	3	4	5
⑬ 情報リテラシーが高い	1	2	3	4	5
⑭ 語学力(外国語能力)が高い	1	2	3	4	5
⑮ プレゼンテーション能力が高い	1	2	3	4	5

#### 4. 本校の教育方針・内容について

本校では教育目標を以下のように定めております。

##### 本科「ものづくり工学科」

###### (実践力)

実践的技術教育を通して、工学的知識・技術の基本を備え新しい“もの”の創造・開発に粘り強く挑戦できる技術者を育成する。

###### (基礎力)

高度な専門知識を学ぶための基礎的学力や技能を備えた技術者を育成する。

###### (人間性・社会性)

豊かな教養、技術者としての倫理観を身に付けさせ、社会に貢献できる広い視野を持った技術者を育成する。

###### (コミュニケーション力)

産業のグローバル化に伴い、国際社会において自分の考えを表現できる表現力やコミュニケーション力を備えた技術者を育成する。

###### (創造力)

地域産業の発展に貢献するため、課題探究能力を有し、設定した課題に向かって果敢に挑戦できる技術者を育成する。

##### 専攻科「創造工学専攻」

###### (基礎力)

学士の学位を取得できる能力を有し、より高度な専門知識を学ぶために必要な基礎学力を備えた技術者を育成する。

###### (実践力)

自ら課題を設定し、解決することができる技術者を育成する。

###### (自己表現力)

国際社会における自己表現力を備えた技術者を育成する。

Q12. (Q4の②で、本校卒業生の雇用が「あり」と回答した方)

上記教育目標に関連する各項目について、貴社に勤務する本校卒業生がどの程度満たしているか、その印象を各項目1～5の中から1つずつお選びください。

	十分に 満たしている	ある程度 満たしている	普通程度	あまり 満たしていない	全く 満たしていない
① 工学的知識・技術の基礎、基本が身についている	1	2	3	4	5
② 進んで課題を発見し、解決しようとする姿勢がみられる	1	2	3	4	5
③ 豊かな教養と倫理観が身につけており、広い視野を持っている	1	2	3	4	5
④ 国際社会で活躍する基礎となる英語力が身につけている	1	2	3	4	5
⑤ 自らの考えを表現できるコミュニケーション力が身につけている	1	2	3	4	5



Q14. (全員の方)

貴社の事業において、産学連携による取り組みはございますか。

産学連携の取り組みがある場合、差し支えない範囲で内容をお聞かせください。

産学連携あり	産学連携なし
1	2

(産学連携「あり」の場合、その取り組み内容)

Q15. (全員の方)

本校のイメージ・印象としてあてはまるもの全てお選びください。

伝統がある	自由な校風がある	学内の雰囲気明るい	個性的である
1	2	3	4
専門知識・技術が身につく	社会に出て活躍できる	有名企業に就職している	最先端の研究をしている
5	6	7	8
応用力がある	研究施設が充実している	地域の発展に貢献している	産学連携に積極的である
9	10	11	12
オープンキャンパスが充実している	海外活動に積極的である	将来性を感じる	教員が充実している
13	14	15	16

Q16. (全員の方)

入社後のスキルアップ(リカレント教育)について、本校へのご要望などございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

※リカレント教育とは、社会人が必要に応じて自身の卒業学校・教育機関を利用して再び教育を受けることが可能な教育システムのことを指します。

アンケートは以上となります

このたびはアンケート調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。ご回答いただきました皆さまの貴重なご意見について理解を深め、今後の本校の教育に役立てていきたいと考えております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

尚、ご回答いただいた当アンケート用紙は、調査票に同封いたしました返信用封筒(切手不要)にてご返却下さいますよう、お願いいたします。

単純集計表（有効回収286s）

Q1. 業種

全 体	農業・林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業
274 100.0	- -	- -	- -	35 12.8	107 39.1	2 0.7	40 14.6	3 1.1	16 5.8	- -

不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	分類不能の産業
- -	35 12.8	- -	1 0.4	1 0.4	- -	2 0.7	27 9.9	2 0.7	3 1.1

企業規模

全 体	大企業	中小企業
275 100.0	64 23.3	211 76.7

Q2-1. 資本金

全 体	5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～3億円未満	3億円以上	平均 (百万円)
277 100.0	85 30.7	64 23.1	51 18.4	77 27.8	6,864.8

Q2-2. 従業員（正社員）数

全 体	99人以下	100～299人	300～999人	1,000人以上	平均 (人)
283 100.0	98 34.6	65 23.0	66 23.3	54 19.1	1,735.6

※大企業の定義：資本金3億円以上かつ従業員数300人以上

Q2-3. 直近5年度の合計採用者数

全 体	平均
277 100.0	113.7

Q3-1. 初任給（高専卒業生の給与設定）

全 体	高専初任給（本科卒業生）	高専初任給（専攻科卒業生）	高専卒業生の新卒採用（初任給設定）はない
280 100.0	220 78.6	183 65.4	52 18.6

Q3-2. 初任給（本科卒業生）

全 体	平均 (千円)
218 100.0	185.9

Q3-3. 初任給（専攻科卒業生）

全 体	平均 (千円)
182 100.0	198.6

Q4. 採用・人事上の現況

	全 体	あり	なし
Q4①. 直近5年度で、高専卒業生（本校を含む）の雇用	286 100.0	214 74.8	72 25.2
Q4②. 直近5年度で、本校卒業生の雇用	214 100.0	145 67.8	69 32.2
Q4②-1. 本校卒業生の雇用がある場合、専攻科卒業生の雇用	140 100.0	32 22.9	108 77.1
Q4③. 直近5年度で、本校卒業生の学校推薦	274 100.0	112 40.9	162 59.1
Q4③-1. 本校卒業生の学校推薦がある場合、今後の継続意向	111 100.0	106 95.5	5 4.5
Q4④. 直近5年度で、本校卒業生の海外への赴任	266 100.0	5 1.9	261 98.1

単純集計表（有効回収286s）

Q 5. 直近5年度の  
高専卒業生の雇用者数

全 体	平 均
201 100.0	12.5

Q 5-1. 高専卒業生の採用時の職種 (MA)

全 体	生 産 技 術	設 計	研 究 ・ 開 発	メ ン テ ナ ン ス	品 質 管 理	製 造	S E ・ P G	設 備	営 業	サ ポ ー ト	そ の 他
243 100.0	46 18.9	105 43.2	46 18.9	71 29.2	36 14.8	53 21.8	50 20.6	31 12.8	14 5.8	11 4.5	27 11.1

※集計対象：雇用者が「1人」以上の回答

Q 6. 直近5年度の本校卒業生の雇用者数  
本科卒業生

全 体	平 均
135 100.0	3.27

専攻科卒業生

全 体	平 均
22 100.0	1.32

※集計対象：各卒業生の雇用者が「1人」以上の回答

Q 6-1. 本校卒業生の雇用者の在籍場所ごとの人数 (本科生、専攻科生別)

	全 体 (回 答 社 数)	合 計 (雇 用 者 数 の 合 計)
Q 6-1. 本科：荒川キャンパス	37	62
Q 6-1. 本科：品川キャンパス	64	105
Q 6-1. 本科：都立工業高等専門学校	39	78
Q 6-1. 本科：都立航空工業高等専門学校	38	57
Q 6-1. 本科：分からない	10	23
Q 6-1. 専攻科：荒川キャンパス	5	8
Q 6-1. 専攻科：品川キャンパス	10	11
Q 6-1. 専攻科：分からない	3	3

※集計対象：各在籍場所の雇用者が「1人」以上の回答

Q 6-2. 本校卒業生の採用時の職種 (MA)

全 体	生 産 技 術	設 計	研 究 ・ 開 発	メ ン テ ナ ン ス	品 質 管 理	製 造	S E ・ P G	設 備	営 業	サ ポ ー ト	そ の 他
157 100.0	29 18.5	55 35.0	20 12.7	49 31.2	19 12.1	40 25.5	25 15.9	16 10.2	6 3.8	5 3.2	13 8.3

Q 7. 直近5年度の本校卒業生の  
雇用者で、現在まで現在までの離職者

全 体	わ か ら な い	い な い	い る
140 100.0	2 1.4	107 76.4	31 22.1

Q 7. 離職者数

全 体	平 均
20 100.0	1.65

※集計対象：離職者が「1人」以上の回答

Q 7-1. 本校卒業生の離職時の職種 (MA)

全 体	生 産 技 術	設 計	研 究 ・ 開 発	メ ン テ ナ ン ス	品 質 管 理	製 造	S E ・ P G	設 備	営 業	サ ポ ー ト	そ の 他
25 100.0	1 4.0	7 28.0	1 4.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	2 8.0	- -	1 4.0	3 12.0

単純集計表（有効回収286s）

Q 8. 各項目における本校卒業生についての評価（MA）

	全 体	非 常 に そ う 思 う	そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	平 均
Q 8 ①. 工学や技術に関する専門知識がある	137 100.0	17 12.4	88 64.2	28 20.4	4 2.9	- -	0.86
Q 8 ②. 行動力・実行力がある	136 100.0	13 9.6	64 47.1	52 38.2	6 4.4	1 0.7	0.60
Q 8 ③. 責任感がある	137 100.0	26 19.0	72 52.6	33 24.1	5 3.6	1 0.7	0.85
Q 8 ④. 協調性がある	137 100.0	14 10.2	82 59.9	33 24.1	8 5.8	- -	0.74
Q 8 ⑤. チャレンジ精神がある	136 100.0	12 8.8	61 44.9	55 40.4	6 4.4	2 1.5	0.55
Q 8 ⑥. コミュニケーション能力が高い	137 100.0	16 11.7	45 32.8	59 43.1	15 10.9	2 1.5	0.42
Q 8 ⑦. 創造性が豊かである	136 100.0	6 4.4	45 33.1	75 55.1	9 6.6	1 0.7	0.34
Q 8 ⑧. 主体性がある	137 100.0	11 8.0	47 34.3	67 48.9	10 7.3	2 1.5	0.40
Q 8 ⑨. 誠実さを持っている	137 100.0	37 27.0	77 56.2	20 14.6	2 1.5	1 0.7	1.07
Q 8 ⑩. 論理的思考力がある	137 100.0	11 8.0	68 49.6	52 38.0	5 3.6	1 0.7	0.61
Q 8 ⑪. 一般常識がある	137 100.0	12 8.8	66 48.2	48 35.0	9 6.6	2 1.5	0.56
Q 8 ⑫. リーダーシップがある	137 100.0	4 2.9	27 19.7	80 58.4	22 16.1	4 2.9	0.04
Q 8 ⑬. 情報リテラシーが高い	136 100.0	4 2.9	47 34.6	74 54.4	10 7.4	1 0.7	0.32
Q 8 ⑭. 語学力（外国語能力）が高い	136 100.0	- -	2 1.5	90 66.2	35 25.7	9 6.6	-0.38
Q 8 ⑮. プレゼンテーション能力が高い	137 100.0	2 1.5	18 13.1	95 69.3	15 10.9	7 5.1	-0.05

※平均は「非常にそう思う」（+2）～「全くそう思わない」（-2）にそれぞれポイントを設定し、平均を算出した値

Q 8. 本校卒業生を評価している項目（MA）

全 体	工 学 や 技 術 に 関 す る 専 門 知 識 が あ る	行 動 力 ・ 実 行 力 が あ る	責 任 感 が あ る	協 調 性 が あ る	チ ャ レ ン ジ 精 神 が あ る	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力 が 高 い	創 造 性 が 豊 か で あ る	主 体 性 が あ る	誠 実 さ を 持 っ て い る	論 理 的 思 考 力 が あ る	一 般 常 識 が あ る	リ ー ダ ー シ ッ プ が あ る	情 報 リ テ ラ シ ー が 高 い	語 学 力 （ 外 国 語 能 力 ） が 高 い	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 能 力 が 高 い
69 100.0	39 56.5	18 26.1	23 33.3	29 42.0	15 21.7	16 23.2	8 11.6	7 10.1	34 49.3	13 18.8	14 20.3	3 4.3	9 13.0	2 2.9	4 5.8

Q 9. 本校卒業生に不足している項目（MA）

全 体	工 学 や 技 術 に 関 す る 専 門 知 識	行 動 力 ・ 実 行 力	責 任 感	協 調 性	チ ャ レ ン ジ 精 神	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	創 造 性	主 体 性	誠 実 さ	論 理 的 思 考 力	一 般 常 識	リ ー ダ ー シ ッ プ	情 報 リ テ ラ シ ー	語 学 力 （ 外 国 語 能 力 ）	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 能 力
107 100.0	10 9.3	16 15.0	6 5.6	12 11.2	13 12.1	35 32.7	6 5.6	18 16.8	3 2.8	13 12.1	15 14.0	43 40.2	10 9.3	48 44.9	28 26.2

Q 10. 本校卒業生に対する総合満足度

全 体	非 常 に 満 足 し て い る	満 足 し て い る	ど ち ら と も い え な い	満 足 し て い な い	全 く 満 足 し て い な い	平 均
134 100.0	31 23.1	82 61.2	15 11.2	4 3.0	2 1.5	1.01

※平均は「非常に満足している」（+2）～「全く満足していない」（-2）にそれぞれポイントを設定し、平均を算出した値

単純集計表（有効回収286s）

Q11. 学生を採用する際、学生に期待する能力・資質

	全 体	非 常 に 期 待 す る	少 し 期 待 す る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 期 待 し な い	全 く 期 待 し な い	平 均
Q11①. 工学や技術に関する専門知識がある	273 100.0	106 38.8	138 50.5	21 7.7	7 2.6	1 0.4	1.25
Q11②. 行動力・実行力がある	273 100.0	158 57.9	103 37.7	11 4.0	1 0.4	-	1.53
Q11③. 責任感がある	272 100.0	157 57.7	100 36.8	14 5.1	1 0.4	-	1.52
Q11④. 協調性がある	273 100.0	169 61.9	94 34.4	9 3.3	1 0.4	-	1.58
Q11⑤. チャレンジ精神がある	273 100.0	163 59.7	95 34.8	14 5.1	1 0.4	-	1.54
Q11⑥. コミュニケーション能力が高い	272 100.0	166 61.0	91 33.5	12 4.4	3 1.1	-	1.54
Q11⑦. 創造性が豊かである	273 100.0	68 24.9	148 54.2	52 19.0	5 1.8	-	1.02
Q11⑧. 主体性がある	272 100.0	120 44.1	125 46.0	26 9.6	1 0.4	-	1.34
Q11⑨. 誠実さを持っている	271 100.0	174 64.2	88 32.5	9 3.3	-	-	1.61
Q11⑩. 論理的思考力がある	273 100.0	87 31.9	149 54.6	35 12.8	2 0.7	-	1.18
Q11⑪. 一般常識がある	273 100.0	91 33.3	137 50.2	41 15.0	4 1.5	-	1.15
Q11⑫. リーダーシップがある	273 100.0	54 19.8	147 53.8	64 23.4	8 2.9	-	0.90
Q11⑬. 情報リテラシーが高い	273 100.0	39 14.3	145 53.1	82 30.0	7 2.6	-	0.79
Q11⑭. 語学力（外国語能力）が高い	273 100.0	18 6.6	89 32.6	106 38.8	49 17.9	11 4.0	0.20
Q11⑮. プレゼンテーション能力が高い	272 100.0	30 11.0	121 44.5	99 36.4	22 8.1	-	0.58

※平均は「非常に期待する」（+2）～「全く期待しない」（-2）にそれぞれポイントを設定し、平均を算出した値

Q12. 勤務する本校卒業生の満足（達成）度

	全 体	十 分 に 満 た し て い る	あ る 程 度 満 た し て い る	普 通 程 度	あ ま り 満 た し て い な い	全 く 満 た し て い な い	平 均
Q12①. 工学的知識・技術の基礎、基本が身についている	133 100.0	27 20.3	73 54.9	30 22.6	2 1.5	1 0.8	0.92
Q12②. 進んで課題を発見し、解決しようとする姿勢がみられる	134 100.0	17 12.7	59 44.0	50 37.3	7 5.2	1 0.7	0.63
Q12③. 豊かな教養と倫理観が身につけており、広い視野を持っている	134 100.0	6 4.5	44 32.8	70 52.2	12 9.0	2 1.5	0.30
Q12④. 国際社会で活躍する基礎となる英語力が身についている	132 100.0	-	6 4.5	63 47.7	54 40.9	9 6.8	-0.50
Q12⑤. 自らの考えを表現できるコミュニケーション力が身についている	134 100.0	6 4.5	39 29.1	69 51.5	18 13.4	2 1.5	0.22

※平均は「十分に満たしている」（+2）～「全く満たしていない」（-2）にそれぞれポイントを設定し、平均を算出した値

単純集計表（有効回収286s）

Q13. 本校の教育について望むこと (MA、5つまで)

全体	力の育成	図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等ができる実務的実践能力	より特化した専門的・先進的な技術教育	度な技術教育	本科（5年）に専攻科（2年）を加えたより高度な技術教育	問題解決型学習等による	課題発見・解決能力の育成	なものづくり実践教育	大学とは異なる、徹底的な教育	キャリア支援教育	工場見学・インターンシップ・企業研究等の	長期のインターンシップによる実務訓練	プロジェクトをまとめる	リーダーシップの育成	プロジェクトの一員として働ける能力の育成	豊かな人間形成に向けた人間力の育成	コミュニケーション能力の育成	実験・実習を通じた技術力や各種報告書の作成力の育成	国際社会で通用する英語力の育成	海外研修旅行や留学等による具体的体験に基づく国際感覚の育成	各種の専門的な資格の積極的な取得への支援	学内活動や同好会活動等の充実	部活動や同好会活動等の充実	ボランティア活動等の学外活動の充実	その他
284	163	68	18	146	121	19	10	71	101	158	206	58	34	10	65	22	3	3	10	34	65	22	3	3	
100.0	57.4	23.9	6.3	51.4	42.6	6.7	3.5	25.0	35.6	55.6	72.5	20.4	12.0	3.5	22.9	7.7	1.1	1.1	12.0	22.9	7.7	1.1	1.1		

Q13-1. 専攻科の教育について最も望むこと

全体	高度な専門知識	自ら課題を発見できる能力	自ら問題を解決する能力	ディベートする能力	調整力	グループなどをまとめる	海外での仕事を積極的に受け入れる姿勢	その他
73	29	10	21	1	5	3	4	
100.0	39.7	13.7	28.8	1.4	6.8	4.1	5.5	

Q14. 産学連携による取り組み

全体	産学連携あり	産学連携なし
281	48	233
100.0	17.1	82.9

Q15. 本校のイメージ・印象 (MA)

全体	伝統がある	自由な校風がある	学内の雰囲気明るい	個性的である	専門知識・技術が身につく	社会に出て活躍できる	有名企業に就職している	最先端の研究をしている	応用力がある	研究施設が充実している	地域の発展に貢献している	産学連携に積極的である	オープンキャンパスが充実している	海外活動に積極的である	将来性を感じる	教員が充実している
259	90	38	37	37	202	113	34	16	35	28	20	21	5	1	57	31
100.0	34.7	14.7	14.3	14.3	78.0	43.6	13.1	6.2	13.5	10.8	7.7	8.1	1.9	0.4	22.0	12.0